

MacMP3

マックMP3 v.2

MacMP3 v.2 ユーザーズガイド



MacMP3 ユーザーズガイド

2000年3月

株式会社アクト・ツー

東京都杉並区和泉1-1-14 鈴木ビル3F

プロダクトマネージャ	Toshiyuki Kohno
エンジニアリングリード	Toshiyuki Kohno
キーエンジニア	Cabel Sasser Steven Frank Samuel K. Caughron Nobuhiro Hasegawa
アートワーク	Jeremy Bailey Ikuo Hayashi Yojiro Wakabayashi Rina Katsuta
ドキュメンテーション テストングリード	Hajime Kasaoka, Sayaka Marumoto Hiroyuki Sugawara
サポートリード	Sayaka Marumoto
マーケティングリード	Matthew Arney, Hajime Kasaoka
セールスリード	Yoshitaka Kagami
プロダクションリード	Ayako Watanabe

MacMP3 の開発にともない、関与頂いた全ての方々に感謝します。

Copyright 2000, act2, Inc. All rights reserved.

MacMP3 は株式会社アクト・ツーの商標です。その他の製品名は各々の所有者の商標または登録商標です。

株式会社アクト・ツーは、万が一、本製品の使用により如何なる損害が生じてもそれを保証するものではありません。本ソフトウェアおよびアップルコンピュータ社のソフトウェアの使用に関するリスクはユーザーに帰属します。

目次

第1章:はじめに	1
MP3 とは?	1
著作権について	1
MacMP3概要	2
エンコーダ	2
プレーヤ	2
第2章:インストール	5
MacMP3のインストール方法を以下に説明します。	5
システム要項	5
インストール手順	5
第3章:今すぐ作ってみよう!	9
音楽CDからMP3ファイルを作ってみる	9
■ 作成方法1 ■	9
Finder上のデスクトップやフォルダにドラッグ&ドロップ	9
■ 作成方法2 ■	9
プレーヤで音楽CDを再生しながらエンコード	9
■ 作成方法3 ■	10
エンコーダ画面から方法を選んでエンコード	10
MP3を聴いてみる	11
プレーヤの起動	11
プレーヤの基本操作	12
フェイスの選択	13
イコライザ	13
プレイリストで再生する	14
第4章:エンコードについて	15
エンコードとは	15
エンコード方法1	15
音楽CDのトラックをドラッグ&ドロップ	15
エンコード方法2	17
音楽CDのトラックをダブルクリック	17

エンコード方法3	17
音楽CDごとエンコード	17
エンコード方法4	18
MacMP3エンコーダにドラッグ&ドロップ	18
エンコード方法5	18
MacMP3エンコーダからエンコード	18
●CDをエンコード	19
●トラックをエンコード	19
●ファイルをエンコード	20
●MP3にレコーディング	20
エンコード方法6	20
MacMP3プレーヤから音楽CDをエンコード	20
エンコード方法7	21
CDエクストラからエンコード	21
エンコード方法8	21
AIFF, WAVファイルからエンコード	21
MacMP3エンコーダ設定	22
次からは表示しない	23
“MP3にエンコード”ダイアログ	23
中止	23
再生する	23
編集画面	23
第5章:MacMP3コントロールパネル	25
設定	25
■MacMP3エンコーダのオン／オフ	26
■ファイルサイズと音質	26
ビットレート	26
アルゴリズム	27
■ファイルタイプと場所	27
デフォルトプレーヤを選ぶ	27
MP3ファイルのエンコード先	27
■Play As You EncodeTM	27
CD情報	28

■CDデータベース (CDDB)	28
CDDBサーバ	28
メールアドレス	28
CD情報の検索	28
■ID3v2タグ	29
MP3ファイルに曲名、アーティスト情報を含める	29
情報を要求	29
上級設定	30
■ステレオモード	30
■VBRオーディオディストーション	31
■オーディオリッピング	31
CDトラックをエンコードせずにAIFFファイルにリップする	31
■デフォルトのファイルフラグ	32
オリジナル	32
著作権	32
CRC	32
MacMP3について	32
第6章:MacMP3 プレーヤ	33
コントロールウインドウ	33
MP3ファイルを聴く	36
<ファイルから再生する>	36
<プレイリストから再生する>	36
1. プレイリストを作成する	36
2. プレイリストを選択する	37
音楽CDを聴く	37
ストリーミング再生を聴く	38
<ストリームガイドからストリーミング再生する>	38
<お気に入りからストリーミング再生する>	39
メニュー	39
■ファイルメニュー	39
新規プレイリスト	39
新規フォルダ	39
Finderで前面に表示	39

MP3ファイルを開く…	39
サーバを開く…	40
プレイリストを開く…	40
ファイルをプレイリストに追加…	40
閉じる	40
プレイリストを保存	40
プレイリストを別名で保存	40
終了	40
■編集メニュー	41
取り消し	41
カット／コピー／ペースト／消去	41
すべてを選択	41
初期設定	41
<アピアランス>	42
<一般設定>	43
MP3ファイル	43
CDオーディオ	44
上級設定	44
<詳細設定>	44
CDモードディスプレイ	44
MP3モードディスプレイ	45
NETモードディスプレイ	45
<ネットワーク>	45
CDデータベース設定	45
接続情報	46
ストリームガイドの設定	46
その他のネットワーク設定	46
上級設定	47
■モードメニュー	47
CDモード	47
取得したCD情報を消去	47
取得したCD情報を更新	48
この曲をMacMP3でエンコード	48

このCDをMacMP3でエンコード	48
MP3モード	48
NETモード	48
サーバをお気に入りに追加	49
ストリームガイドを更新	49
再生	49
停止	49
取り出し	49
カラオケ	49
■プレイリストメニュー	50
プレイリストオーガナイズ	50
順番をランダムにする	50
順番をふりなおす	50
プレイリストをリピート	50
1曲のみリピート	50
シャッフルプレイ	51
プレイリストフォルダを更新	51
■ツールメニュー	51
MP3タグエディタ	51
アラームクロック	52
再生の開始時間	52
再生するファイル	52
■ウィンドウメニュー	52
コントロール	52
インフォメーション	53
プレイリスト	54
<プレイリストにMP3 ファイルを追加する>	55
<プレイリストの演奏順を変更する>	55
<プレイリストのアイコン>	55
<プレイリストからMP3 ファイルを削除する>	56
お気に入りのサーバ	56
<サーバをお気に入りとして登録する>	56
ストリームガイド	57

イコライザ	58
第7章:FAQ(よくある質問と回答)	59
一般:	59
プレーヤ:	59
エンコーダ:	62
その他:	67
第8章:テクニカルサポート	69
■ ユーザ登録	69
■ 登録方法	69
■ サポート窓口	69
■ サポートセンターへのお問い合わせ	69

第1章:はじめに

MP3 とは？

MP3 は MPEG Audio Layer 3 の略称で、オーディオデータを扱うファイル形式の一つです。他の音声ファイル形式と比較して容量が小さく、ほぼオリジナルと同様の音質を保つことができるという特徴を持っているため、様々な用途に応用が可能な汎用フォーマットとして注目を集めています。

MPEG (Motion Picture Experts Group) とは、国際標準化機構 (ISO) と国際電気標準会議 (IEC) が共同で組織した作業グループの名称です。このグループの目標としては、デジタルビデオと音声データ圧縮の国際標準規格を作ることが掲げられています。つまり MPEG とは、あまり大きなデータ量を必要とせず、デコードにも負荷のかからない音声／ビデオデータフォーマットの定義を行う団体、と言い換えられます。

通常、DOSやUNIXシステム上では、MP3フォーマットであることをシステムに認識させるため、3文字の拡張子“ .mp3 ”がファイル名の末尾に付けられます。

著作権について

MP3の普及とともに最もクローズアップされているのが、その高いクオリティゆえに生じる著作権に関わる問題です。当然、自分で作った楽曲をMP3ファイルにする分には何の問題もないのですが、著作権を有し、商品として売られている音楽著作物を複製してMP3に変換するときには注意が必要です。

もちろん、本人が楽しむ範囲ならば問題ありません。しかし、それらの音源から作成したデータを著作者に無断で配布したり、ホームページに掲載することは著作権法によって厳しく禁止されています。

著作権に関する法律は、今後改定されていくことが考えられます。従って、著作権に関する最新情報は、日本音楽著作権協会 (JASRAC) のページ (<http://www.jasrac.or.jp/>) 等を随時ご確認ください。

MacMP3 概要

MacMP3は、音楽CDからドラッグ&ドロップするだけでMP3 ファイルを自動的に作成することができるエンコーダと、MP3をサポートしたインターネット時代のマルチソース・プレーヤがセットになったトータルパッケージです。各コンポーネントの概要を以下に簡単に紹介します。

エンコーダ

- 音楽CDからドラッグ&ドロップするだけでMP3 ファイルを自動的に作成
- ダイレクト変換により、MP3作成時に広大なディスク空き領域を必要としない高速エンコードを実現
- Power Mac G4搭載のVelocity Engineに最適化
- CDタイトル／曲名／アーティスト名等を自動認識(CDDB*1 サポート)
- ステレオ／モノラルの両フォーマットをサポート
- 音楽CDからMP3だけでなく、AIFF*2 への変換もサポート
- AIFF、WAV フォーマットからMP3 への変換をサポート
- QuickTime4*3 による再生をサポート
- CDエクストラ*4 からのエンコードをサポート
- 内蔵／外部マイクから入力した音声をMP3に変換可能(ボイスレコーディング・エンコード)
- ボタンをクリックするだけで簡単にエンコードできる分かりやすいインタフェース

プレーヤ

- 話題のMP3のストリーミング再生をサポート
- プリセットを含むイコライザ、階層管理が可能なプレイリストによるプログラム再生、アラームクロック機能での自動再生、リピート、ランダム再生等、CD／MDプレーヤを凌ぐ多彩な再生機能
- iMac、iBookのようなスケルトン調のインタフェース
- CDタイトル／曲名／アーティスト名等を自動認識(CDDB*1 サポート)
- アーティスト名やタイトルなどの情報をID3 タグ*5 で認識可能
- 作成後にMP3ファイルのID3 タグ情報を編集するタグエディタ機能
- Rock、Pop、Jazzなど、曲順に合わせて選択可能なプリセットを搭載したイコライザ機能
- カラオケ再生(ボイス・キャンセラー)で一般的なMP3ファイルのボーカルをカット
- AppleScriptによる制御に対応

-
- *1 世界中のCDのタイトルやアーティストの名前が登録されているデータベース。
 - *2 Macintoshで使われている標準的な音声ファイルの形式。
 - *3 アップルコンピュータ社が開発した、コンピュータ上でデジタルオーディオやデジタルビデオを扱うための機能を拡張する技術。
 - *4 インターネットを通じて配信される音声を使った情報の提供。
 - *5 MP3ファイルの中に曲名やアーティスト名、その他の情報を埋め込むための領域。これを付加することで管理が容易になる。
 - *6 音楽CDにミュージックビデオやアーティストのインタビュー、Webリンクなどのマルチメディアファイルが追加されたもの。通常Mac OSでは、音楽CDではなくCD-ROMとして認識される。
-

第2章:インストール

MacMP3 のインストール方法を以下に説明します。

フルインストールを行うと、MacMP3エンコーダ、プレーヤを含むすべてのコンポーネントがインストールされます。インストールされる詳しい内容については、インストール後に作成される“ MacMP3 v.2.0 フォルダ ”内の“ MacMP3 v.2.0 お読みください ”を参照してください。

システム要項

Mac OS 8.1以降、Mac OS 8.6 対応 (Mac OS 8.5以降推奨)、iMac、iBook、Power Mac G4対応、8MB以上のRAM、CD-ROMドライブ (8倍速以上推奨、Apple純正のCD-ROMドライブを推奨)、インターネット接続環境 (CDDDB機能等のインターネット連携機能に必要)

エンコーダ:	Power Macintosh、Power Macintosh G3以上推奨
プレーヤ:	PowerPC 604 以上のプロセッサを搭載した Power Macintosh、Power Macintosh G3 以上推奨 (PowerPC プロセッサを搭載したすべての Macintosh で動作可能)

※処理速度の低いMacintoshでのご使用につきましては、“ MacMP3 v.2.0フォルダ ”内の“ MacMP3 v.2.0 お読みください ”を参照してください。

インストール手順

1. インストールを開始する前に、CD-ROMからハードディスクへMacMP3のインストーラをコピーします。デスクトップなどの分かりやすい場所にコピーすることをおすすめします。
2. コピーが終了したら、機能拡張マネージャなどでOS基本の機能拡張だけをロードさせるようにして、Macintoshを再起動してください。インストール時の問題の大半は、標準以外の機能拡張を外すことで回避できます。
3. ハードディスク上にコピーした“ MacMP3 v.2.0 インストーラ ”アイコンをダブルクリックしてください。インストーラが起動します。



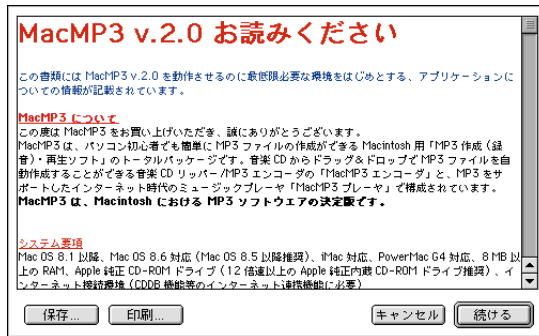
MacMP3 v.2.0 インストーラ

4. ダイアログが表示されます。



“続ける”をクリックしてください。

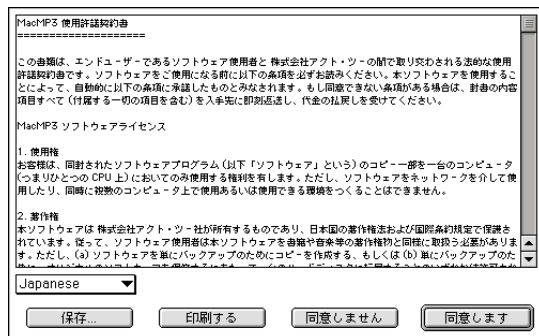
5. インストーラのウィンドウ内に文書が表示されます。



この文書を保存する場合は“保存...”ボタンを、印刷する場合は“印刷...”ボタンをクリックします。ただし、印刷に関する機能拡張が有効になっていない場合は印刷ができません。

インストール作業を開始する場合に“続ける”ボタンを、中止する場合には“キャンセル”ボタンをクリックしてください。

6. 使用許諾契約書が表示されます。



使用許諾契約書はインストール前に必ずお読みください。この使用許諾契約書に同意できない場合には、インストールを中止して、この製品のメディア、パッケージおよび付属品一切をご返品ください。

内容に同意する場合は“ 同意します ”をクリックします。

7. 登録ダイアログが表示されます。

MacMP3 登録

MacMP3 を登録してください！
登録番号は、ユーザ登録が幸に記録されています。MacMP3 を再インストールする
場合に備えて、登録番号は大切に保存してください。

登録情報:

名前:

会社名:

登録番号:

名前、会社名、登録番号を入力してください。

登録番号は同梱されているユーザ登録カードに記載されています。間違いないようにすべて半角英数で正確に入力してください。名前は半角3文字以上の入力が必要です。会社名は空欄でも構いません。すべての情報を入力したら“ 続ける ”ボタンをクリックしてください。

8. インストール画面が表示されますので、“ インストール ”ボタンをクリックしてインストールを続けます。

MacMP3 v.2.0 インストーラ

簡易インストール ▼

＜ MacMP3 v.2.0 フルインストール ＞

インストールボタンをクリックすると、音楽 CD から MP3 ファイルを作成するためのリッパーおよびエンコードと、MP3 ファイルや音楽 CD の再生を行うプレーヤなど、MacMP3 v.2.0 のすべてのコンポーネントをインストールします。

インストール条件: 44 K

デフォルトでは、左上のプルダウンメニューで“ 簡易インストール ”が選択されています。この状態でインストールを行うと、MacMP3 のすべてのコンポーネントがインストールされます。

エンコーダやプレーヤのみインストールしたい場合は、プルダウンメニューで“カスタムインストール”を選択し、インストール方法をクリックしてから“インストール”ボタンを押してください。



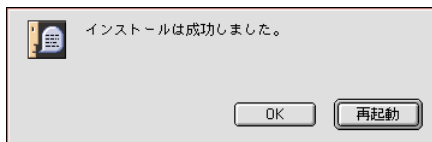
また、プルダウンメニューで“アンインストール”を選択して、すでにインストールされているMacMP3のすべてのコンポーネントを削除することも可能です。

9. インストール先を指定します。



MacMP3のインストール先を指定するダイアログが表示されます。指定したら、“インストール”ボタンをクリックしてください。

10. インストールが終了すると、“OK”“再起動”のいずれかを訊ねるダイアログが表示されます。



インストール前に機能拡張を外してからインストール作業を行った場合などには、一度“OK”をクリックし、インストーラを終了した後に、機能拡張を元の状態に戻してから再起動を行ってください。

第3章:今すぐ作ってみよう！

音楽 CD から MP3 ファイルを作ってみる

■ 作成方法 1 ■

Finder 上のデスクトップやフォルダにドラッグ&ドロップ



MacMP3 をインストール後、再起動すると、MP3 エンコード（作成）に必要な機能がシステムに自動的に組み込まれます。ですから、あなたは音楽 CD を丸ごと、または必要なトラックだけ選択し、ドラッグ&ドロップでデスクトップや Finder 上のフォルダにコピーするだけで MP3 を作成できます。

■ 作成方法 2 ■

プレーヤーで音楽 CD を再生しながらエンコード



プレーヤーのモードメニューから

- この曲を MacMP3 でエンコード
- この CD を MacMP3 でエンコード

を実行すると、音楽 CD を再生しながら、MP3 へのエンコードを行うことができます。

- ※ デフォルトの設定では、エンコードの開始時に“ MacMP3エンコーダ設定 ”のダイアログが表示されます。“ 継続 ”ボタンを押すことでエンコード処理を開始することができます。



■作成方法 3 ■

エンコーダ画面から方法を選んでエンコード

“ MacMP3 v.2.0フォルダ ”から“ MacMP3エンコーダ ”を起動し、ウィンドウからエンコード方法を選択してエンコードを行うことができます。

この方法を利用すると、

- マウントしているCDの全トラックをエンコード
- マウントしているCDからトラックを選択してエンコード
- ディスク上の音楽トラック、AIFF、WAVファイルを選択してエンコード
- 内蔵／外部マイクから取り込んだ音声をエンコード

のいずれか方法でMP3を作成することができます。



MP3 を聴いてみる

プレーヤの起動

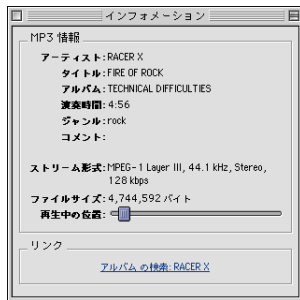


MP3 ファイルを MacMP3 プレーヤアイコンにドラッグ&ドロップすれば、MacMP3プレーヤが起動して、すぐに再生が始まります。また、プレイリストファイルをプレーヤアイコンにドラッグ&ドロップしても、MacMP3プレーヤを起動できます。この場合、プレイリストウインドウを開いた状態でプレーヤが起動しますので、再生ボタンを押すことでプレイリストの再生を始めます。

もちろん、MacMP3プレーヤアイコンをダブルクリックして起動することもできます。

MacMP3 プレーヤは、MP3 ファイルだけでなく、音楽CDやインターネットラジオ (ストリーミング再生) を聴くこともできるマルチソース・プレーヤです。

プレーヤの基本操作



フェイスの選択

フェイスとは、プレーヤの外観のことです。

MacMP3ではユーザの好みや持っているマシンの色に合わせて外観を選択することができます。

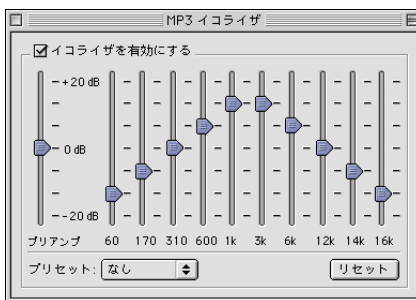
“初期設定”パネルの“アピアランス”で選択してください。



イコライザ

イコライザとは一定の周波数帯域ごとに強弱をつけることができる機能です。

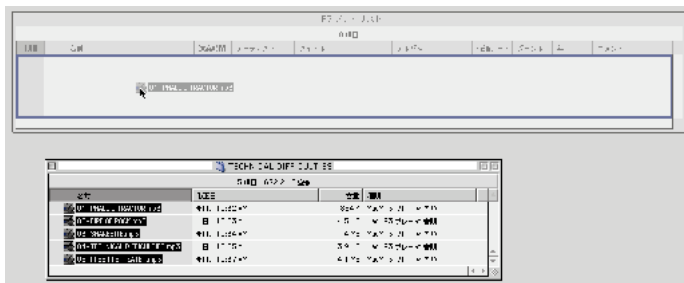
これによって、好みの音質を細かく調整することが可能です。



再生する曲に合わせ、プリセットを利用することもできます。

プレイリストで再生する

プレイリストとは、複数のMP3をセットにし、曲順などをファイルとして保存しておくものです。よく聴くMP3ファイルを1つのプレイリストに登録しておけば、お気に入りの曲の連続再生が手軽に行えます。プレイリストへのファイルの登録は、MP3ファイルをプレイリストウィンドウにドラッグ&ドロップするなどの簡単な操作で行えます。



プレイリストウィンドウにフォルダをドラッグ&ドロップすると、フォルダごとMP3ファイルを管理することができます。フォルダの横のチェックボックスのオン/オフで、そのフォルダのファイルを再生するかしないかの設定が行えます。例えば、音楽CDを丸ごとエンコードし、アルバムタイトルのついたフォルダでプレイリストに追加すると、何というアルバムの曲がリストに登録されているかが一目で分かり、とても便利です。また、複数の階層ごと登録が可能なので、アーティスト名のフォルダの中にアルバム名のフォルダを作り、MP3ファイルを登録する、といった使い方もできます。



登録されているファイルの曲順はドラッグ&ドロップだけで変更でき、プレイリスト単位でのリピートやリスト内の1曲のリピート、リスト内でのシャッフルプレイなどが可能です。

また、プレイリストメニューから“プレイリストオーガナイズ”を選択すると、プレイリスト内のMP3ファイルをアーティスト名などでフォルダにまとめることができます。様々なまとめ方が用意されていますので、使い分けてMP3の管理に役立ててください。

第4章:エンコードについて

MacMP3には大きく分けて、MP3ファイルを作成する「エンコード」機能とMP3ファイルを再生する「プレーヤ」機能の2つの機能があります。ここでは「エンコード」について説明します。

エンコードとは

MP3ファイルを作成することを「MP3ファイルにエンコードする」と言います。エンコードするソフトを「エンコーダ」と呼びます。

MacMP3でMP3ファイルを作成するには以下の8つの方法があります。

- [1] 音楽CDのトラックをドラッグ&ドロップ
- [2] 音楽CDのトラックをダブルクリック
- [3] 音楽CDごとエンコード
- [4] MacMP3エンコーダにドラッグ&ドロップ
- [5] MacMP3エンコーダからエンコード
- [6] MacMP3プレーヤから音楽CDをエンコード
- [7] CDエクストラからエンコード
- [8] AIFF、WAVファイルからエンコード

それぞれの方法を以下に詳しく説明しますので、一番使いやすい方法でMP3ファイルを作成してください。

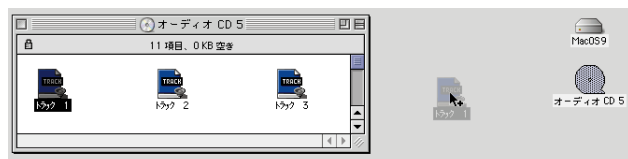
エンコード方法 1

音楽CDのトラックをドラッグ&ドロップ

一番簡単なMP3ファイルの作成の仕方がこの方法です。手順は以下の通りです。

1. 音楽CDをMacintoshに挿入します。
2. 音楽CDのアイコンをダブルクリックして開き、エンコードしたいトラックをデスクトップ上や任意のフォルダ等、MP3ファイルを作成したい場所にドラッグ&ドロップします。

例として、デスクトップにドラッグした場合を説明します。



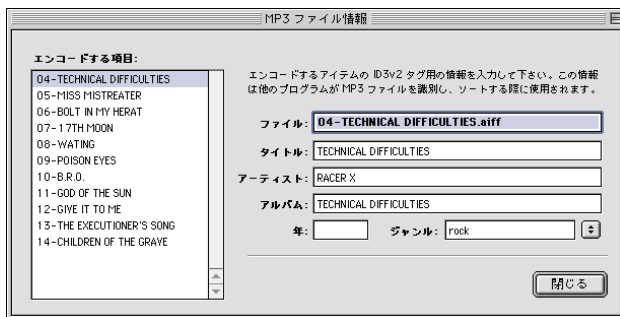
3. 設定画面が表示されます。



上級設定をしたい場合は「上級設定」ボタンをクリックしてください。設定の詳細については、後述する「MacMP3エンコーダ設定」の項を参照してください。

お好みの設定を行った後、「継続」ボタンをクリックしてください。

4. 設定によりエンコードしているMP3ファイルのタグ情報を編集するウィンドウが表示されます。



この画面の詳細については、「第5章:MacMP3コントロールパネル」の「設定」および「上級設定」の項を参照してください。

5. エンコードが終了すると、MP3ファイルが作成されます。



PHALLIC TRACTOR.mp3

この方法で MP3 ファイルを作成すると、MP3 ファイルはトラックをドラッグ&ドロップした場所に作成されます。この例ではデスクトップにMP3ファイルが作成されているはずです。

これでMP3ファイルが作成されました。MacMP3プレーヤを使って、作成した MP3 ファイルをお楽しみください。

プレーヤの詳細は「第6章:MacMP3 プレーヤ」を参照してください。

エンコード方法 2

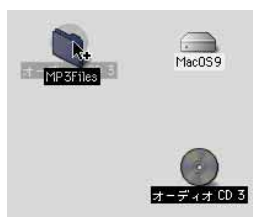
音楽 CD のトラックをダブルクリック

MP3 ファイルに変換したいトラックをダブルクリックした場合も、MP3 ファイルへエンコードすることができます。トラックをダブルクリックした後は、前項の 3.以降と同様の動作をします。

唯一異なる点は、MP3ファイルが作成される場所です。トラックをダブルクリックして MP3 ファイルを作成した場合、“ MacMP3 設定 ”コントロールパネルで設定されている“ MP3ファイルのエンコード先 ”にファイルが作成されます。この設定は、デフォルトではデスクトップになっています。“ MacMP3設定 ”コントロールパネルにつきましては「第5章:MacMP3 コントロールパネル」を参照してください。

エンコード方法 3

音楽 CD ごとエンコード



音楽 CD の全トラックを簡単にエンコードすることもできます。マウントした音楽 CD のアイコンを Finder 上の任意のフォルダやボリュームにドラッグ&ドロップしてください。前述の「エンコード方法 1」と同様の操作で、CD 全トラックのエンコードが開始されます。

エンコード方法 4

MacMP3 エンコーダにドラッグ&ドロップ

“ MacMP3 v.2.0フォルダ ”にインストールされた“ MacMP3エンコーダ ”アプリケーションに音楽CDやトラック、AIFFファイルやWAVファイルをドラッグ&ドロップすることで、MP3 ファイルにエンコードされます。

エンコード方法 5

MacMP3 エンコーダからエンコード

“ MacMP3 v.2.0フォルダ ”の中の“ MacMP3エンコーダ ”を起動し、ウインドウに表示されているボタンをクリックするだけでMP3ファイルを作成することができます。

この方法では

- CD をエンコード
- トラックをエンコード
- ファイルをエンコード
- MP3 にレコーディング

のいずれかを選択します。

1. “ MacMP3 v.2.0フォルダ ”内の“ MacMP3エンコーダ ”アイコンをダブルクリックします。
2. エンコーダ画面が表示されます。



以下のいずれかのエンコードを選択してMP3を作成します。

●CDをエンコード

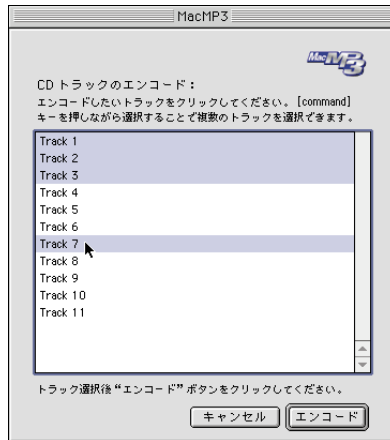
このボタンから、マウントしている音楽CDの全トラックをエンコードすることができます。

クリックすると“MacMP3エンコーダ設定”パネルが表示され、その後は他のエンコード方法と同様の操作でMP3を作成することができます。

●トラックをエンコード

このボタンから、マウントしている音楽CDの特定のトラックを選択してエンコードすることができます。

クリックすると音楽CDの全トラック名が表示されますので、エンコードしたいトラックを選択します。



このウインドウでトラックを選択する際、commandキーを押しながらクリックすると並んでいない複数のトラックを同時に選択することができ、あるトラックを選択後にshiftキーを押しながら他のトラックを選択すると、その間にあるトラックをすべて選択することができます。

この2つのトラックの選び方を組み合わせて使用することで、簡単にCDエクストラからエンコードしたいトラックを選択することができます。

commandキーで選択後にshiftキーを押してクリックをしたり、shiftキーを押しながらのクリックを2回すると、事前に行っていた選択が取り消されます。

●ファイルをエンコード

このボタンから、ディスク上のAIFF、WAV、音楽トラックを選択してエンコードすることができます。

クリックすると選択ダイアログが表示されますので、エンコードしたいファイルを選択してください。“MacMP3エンコーダ設定”パネルが表示されますので、その後は他のエンコード方法と同様の操作でMP3を作成することができます。

●MP3にレコーディング

このボタンから、内蔵または外部マイクによって入力した音声をMP3ファイルにエンコードすることができます。

クリックすると保存ダイアログが表示されますので、音声をレコーディングするMP3ファイルのファイル名を入力し、保存場所を指定して“保存”ボタンを押してください。空のMP3ファイルが作成され、以下のダイアログが表示されます。



“ソース”で音声をどこから取り込むかを指定した後“スタート”ボタンでレコーディングを開始し、“ストップ”ボタンで終了させます。

“オプション...”ボタンをクリックすると、“MacMP3エンコーダ設定”画面が表示され、作成するMP3ファイルの設定を行うことができます。

エンコード方法 6

MacMP3 プレーヤから音楽 CD をエンコード

MacMP3 プレーヤで再生中の音楽CDをMP3ファイルにエンコードすることもできます。操作方法につきましては、「第6章：MacMP3プレーヤ」を参照してください。

エンコード方法 7

CD エクストラからエンコード

CDエクストラ(エンハンスドCD)にはマルチメディアファイルなどの追加情報が含まれているため、エンコードするためには「エンコード方法5 MacMP3エンコーダからエンコード」と同様、MacMP3エンコーダアプリケーションを起動する必要があります。操作の詳細については「エンコード方法5」を参照してください。

エンコード方法 8

AIFF、WAV ファイルからエンコード

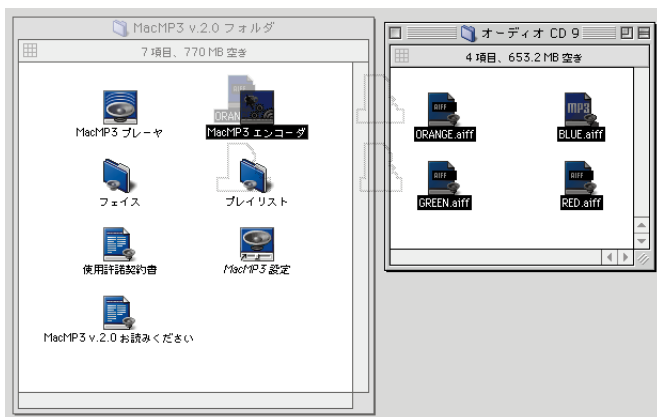
“MacMP3 v.2.0 フォルダ”内の“MacMP3 エンコーダ”アプリケーションに、AIFFファイル、またはWAVファイルをドラッグ&ドロップしてエンコードします。また、MacMP3エンコーダを起動し、エンコーダ画面から“ファイルをエンコード”を選択することでも同様の操作が行えます。

Tips: AIFF ファイルと WAV ファイルのサポート

MacMP3はPCM AIFFファイルをサポートしており、その他の外部AIFF形式は認識されない恐れがあります。MacMP3では音楽CDからリッピングしてエンコードする際のみAIFFへの書き出しをサポートしており、ハードディスク上のWAVファイルをエンコードする時にAIFFファイルを作成することはできません。また、サンプルレートが13kHz未満のWAVやAIFFファイルからは、高音質のMP3ファイルは作成できませんのでご注意ください。ディスクの空き容量が少なかったり、高音質である必要がない場合は、会話の録音などには13kHz未満で作成されたMP3ファイルが適しているかもしれません。

Tips: 残り時間とプログレスインジケータ

WAVやAIFFファイルのエンコード時、“MP3にエンコード”ダイアログ内に表示される残り時間は、100%正確とは言えませんが、信頼できる妥当な推測値であるはずで、ただし、45分以上の大きなオーディオトラックをエンコードする際には、実際よりもやや大きな値が表示されることがあります。



MacMP3 エンコーダ設定

音楽CDからトラックをドラッグ&ドロップすると“MacMP3エンコーダ設定”という画面が表示されます。この画面で“上級設定”ボタンをクリックすると、詳しい設定を行うことができます。

これらの設定に関する詳細は「第5章:MacMP3コントロールパネル」の「設定」および「上級設定」の項を参照してください。



次からは表示しない

“ MacMP3 エンコーダ設定 ”画面には、左下に“ 次からは表示しない ”チェックボックスがあります。ここにチェックを入れると、音楽CDをMP3ファイルにエンコードするときに、“ MacMP3エンコーダの設定 ”の画面を表示しないように設定することができます。この項目は他の設定パネルにはありません。必ずここで設定してください。

“ MP3 にエンコード ” ダイアログ

MP3ファイルへのエンコードが開始されると、“ MP3にエンコード ”ダイアログが表示されます。このダイアログの設定を以下に説明します。

中止

MP3 へのエンコードを中止します。

再生する

この項目にチェックすると、エンコードを継続しながらエンコード中のCDトラックが再生されます。

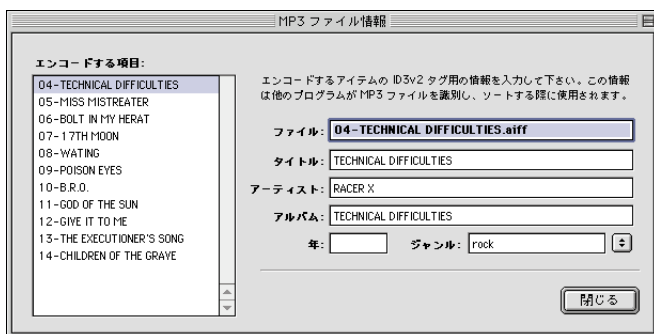
編集画面

“ MP3にエンコード ”ダイアログの左下に表示されている三角のタブアイコンをクリックするとMP3 ファイルの詳細を表示する画面が表示されます。



この詳細画面の“ 編集 ”ボタンをクリックすると、エンコード中のMP3ファイルに含まれるID3v2 タグの編集ウインドウが表示されます。

ID3v2タグは曲名やアーティスト名などの情報を埋め込むための領域で、一般的なMP3プレーヤーでサポートされています。



ウィンドウ左部でトラックを選択すると、右部の入力エリアがアクティブになります。このウィンドウで編集できるタグ情報には以下の項目があります。

- ファイル
- タイトル
- アーティスト
- アルバム
- 年
- ジャンル

また、MacMP3がインターネット経由でCDDDBからエンコード中の音楽CDの情報を取得した場合、左部のトラック名リストに取得したトラック名が表示され、それぞれの情報が自動的に各入力エリアに反映されます。必要があれば、これらの反映情報を修正することも可能です。

また、作成後にMP3ファイルのタグ情報を修正したい場合は、MacMP3プレーヤーのツールメニューから“MP3タグエディタ”を使用して編集することが可能です。

第5章:MacMP3 コントロールパネル

この章では、“MacMP3設定”のコントロールパネルについて説明します。このコントロールパネルでは、主にエンコード機能の設定をすることができます。また、音楽CDからMP3ファイルを作成するときに表示される“MacMP3エンコーダ設定”とその上級設定の設定項目を含んでいます。“MacMP3エンコーダ設定”についてはこの章の「設定」を、その上級設定についてはこの章の「上級設定」を参照してください。

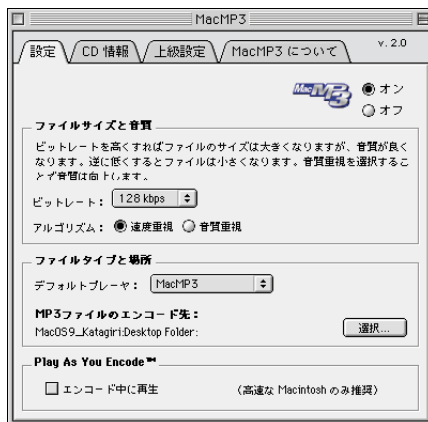
なお、“MacMP3 v.2.0フォルダ”には“MacMP3設定”コントロールパネルのエイリアスがインストールされており、このエイリアスからコントロールパネルを起動して、設定を行うことができます。

“MacMP3 設定”コントロールパネルには、

- 設定
- CD 情報
- 上級設定
- MacMP3 について

の4つのタブがあります。以下にそれぞれの設定項目を説明します。

設定



■ MacMP3 エンコーダのオン／オフ

コントロールパネル右上にあるオン／オフのラジオボタンによって、MacMP3の自動エンコード機能のオン／オフを設定することができます。オフにすると、音楽CDのトラックをダブルクリックしても、MP3ファイルに自動的にエンコードされません。

■ ファイルサイズと音質

ビットレートと音質を設定できます。ビットレートを高くするとファイルのサイズは大きくなりますが、音質はよくなります。また、音質重視を選択することで音質は向上しますが、エンコード時間が若干遅くなります。

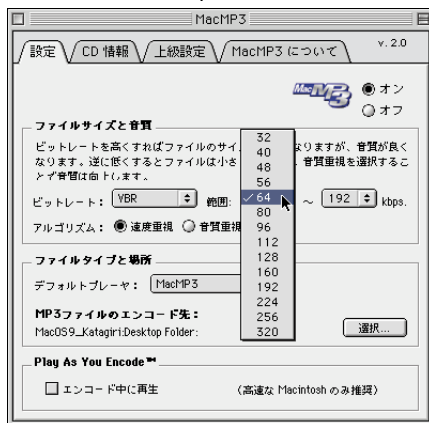
ビットレート

32 kbps
40 kbps
48 kbps
56 kbps
64 kbps
80 kbps
96 kbps
112 kbps
✓ 128 kbps
160 kbps
192 kbps
224 kbps
256 kbps
320 kbps
VBR

一般的に、高く設定することで音質はよくなりますが、圧縮率が低下し、ファイル容量が大きくなります。

音楽CD(サンプリング周波数 44.1kHz、量子化 bit 数 16bit、ステレオ)と同様の音質にエンコードしたい場合、“128 kbps”または“160 kbps”を選択してください。

一番下に表示される“VBR”を選択すると、可変ビットレートでエンコードすることができます。ここで“VBR”を選択すると、VBR を適用するビットレートの範囲を“kbps”単位で設定することができます。



Tips:ビットレートとは

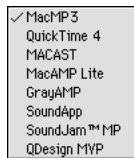
ビットレートとは1秒間に伝送される情報量をビット数で表現したものです。情報量が多い程、ビットレートは高くなります。音声の場合、1秒間に何ビットのデータを表現するかという割合になります。単位は「ビット／秒」となり、「kbps」は「キロ(1,000)ビット／秒」を指します。高音や低音を美しく聴かせたい場合はビットレートを高くする必要がありますが、高低の少ない音楽などの場合はビットレートをあまり高く設定しなくても美しく聴かせることができます。

アルゴリズム

音質とエンコード速度のどちらを重視するか設定します。“音質重視”を選択すると、ISOによって定められた規格をベースに情報量をできるだけ多く残します。

■ファイルタイプと場所

デフォルトプレーヤー



作成したMP3ファイルをダブルクリックしたときに、どのMP3プレーヤーを起動するかを設定できます。

MP3 ファイルのエンコード先

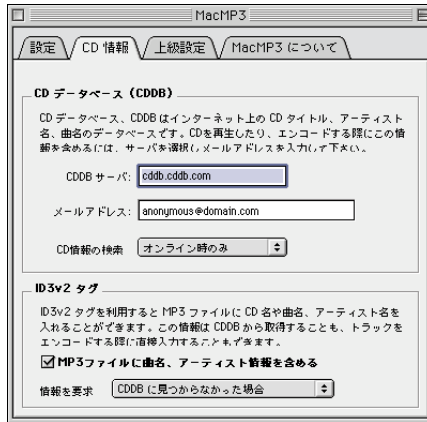
音楽CDのトラックをダブルクリックするなどの方法でエンコードした時、作成したMP3ファイルをどこに保存するかを設定します。“選択”ボタンをクリックし、ダイアログから保存先フォルダを選択することができます。

■ Play As You Encode™

“エンコード中に再生”をチェックすると、音楽CDのトラックをMP3ファイルにエンコードしながら再生することができます。

この機能は処理能力の高いプロセッサを必要とするため、高速な処理が可能なMacintoshでの使用のみ推奨されています。

CD 情報



■ CD データベース (CDDb)

CDDb サーバ

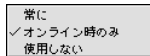
CD 情報を取得するために検索を行う CDDb サーバを設定します。

メールアドレス

CDDb サーバに接続する際に必要となるユーザのメールアドレスを設定します。ここが空欄だと CDDb サーバに接続できないことがありますので注意してください。

CD 情報の検索

どのような場合に CD データベースの検索を行うかを設定します。デフォルトでは“オンライン時のみ”が選択されています。



常に

CD をマウントした時、常に CD データベースの検索を行うように設定します。

オンライン時のみ

CD をマウントし、なおかつインターネットに接続し実際にデータが転送される時のみ検索を行うように設定します。

使用しない

常に CD データベースの検索を行わないように設定します。

Tips:CD データベース(Cddb)とは

世界中のCDのタイトルやアーティストの名前、ジャンルなどが登録されているデータベースサーバで、インターネット上で公開されています。MacMP3は自動的にこのCDデータベースサーバにアクセスし、その情報を取得してプレーヤに表示したり、作成したMP3ファイルのID3v2タグに反映することができます。

■ ID3v2 タグ

MP3 ファイルに曲名、アーティスト情報を含める

この項目にチェックすると“情報を要求”が有効になり、MP3ファイルのタグ情報をどのように編集するかを設定できます。

情報を要求

常に
☒ Cddb に見つからなかった場合
使用しない

常に

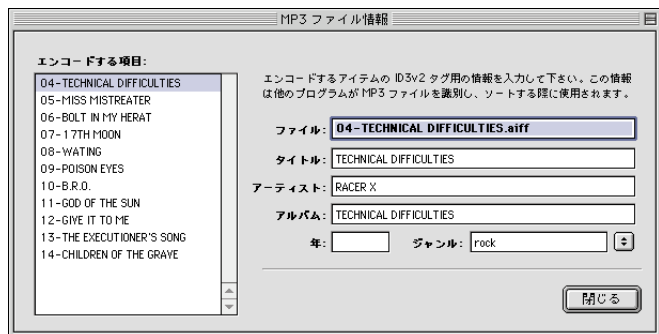
CDデータベースの検索を常に行うように設定します。

Cddbに見つからなかった場合

Cddbに情報が見つからなかった時のみID3v2タグの編集画面を表示するように設定します。

使用しない

CDデータベースを検索せず、常にID3v2タグの編集画面を表示するように設定します。



上級設定

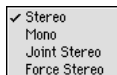


■ステレオモード

可変ビットレート (VBR) とは、ビットレートが時間的に変化する方式のことを指します。通常の設定では、“設定”タブ内の“ビットレート”項目で設定したビットレート (デフォルトでは“128kbbs”) に固定された「固定ビットレート方式」で MP3 ファイルにエンコードします。この場合、設定したビットレートより狭い音域の場合は、確保した領域を使い切らないために容量が無駄に使用されることとなります。その点、VBR は音域が狭いところではビットレートを低く、音域が広いところではビットレートを高くエンコードし、無駄の少ない最適なエンコードが行えます。しかし、MP3 プレーヤーの中には VBR に対応していないものもあるので注意が必要です。

MacMP3 は以下のモードに対応しています。

● Stereo



オリジナルのオーディオトラックの左右のチャンネルを利用して、左右に分けてエンコードします。

例えば 128kbps のステレオエンコーディングは、実際には左右のチャンネルを 64kbps ずつにエンコードしています。

- Mono

この設定はモノラルサウンドファイルやステレオ音源からモノラルのMP3ファイルを作成する時に使用します。

- Joint Stereo

Stereoモードと異なり、ジョイントステレオエンコーディングでは、2つのチャンネルの同じ部分と違う部分を見つけようとします。この方法では、通常のステレオエンコーディング以上の音質を提供します。

- Force Stereo

基本的には、モノラルでのエンコードと同じサウンドを左右両方のチャンネルに振り分けます。

■ VBR オーディオディストーション

“ 設定 ”パネルでVBRの設定を行った場合に、ディストーションをどれだけ許容したMP3ファイルを作成するかをスライダで指定できます。

“ 多い ”にスライダをドラッグすると、エンコード時により多くのディストーションを含んだままMP3ファイルが作成可能となるため、ファイルの容量は小さくなりますが、ノイズが残ります。

“ 少ない ”にスライダをドラッグすると、エンコード時にディストーションをできるだけ排除したMP3ファイルを作成するため、ファイルの容量は増大しますが、音質は向上します。

■ オーディオリッピング

CDトラックをエンコードせずに AIFF ファイルにリップする

この項目をチェックすることで、オーディオトラックをMP3にエンコードする代わりに、AIFFファイルとして保存することができるようになりますが、AIFFファイルは容量が非常に大きくなることがあるので注意が必要です。また、この項目をチェックすると、MP3へのエンコード機能はオフになります。

AIFFファイルはQuickTimeやMacintosh上のその他のオーディオメディアプレーヤーで再生することができ、最もオリジナルに忠実なコピーとなります。また、AIFFファイルを“ MacMP3 v.2.0フォルダ ”内の“ MacMP3エンコーダ ”アプリケーションにドラッグ&ドロップすることで、AIFFファイルからMP3ファイルにエンコードすることも可能です。また、“ MacMP3エンコーダ ”を起動した際のウィンドウには“ ファイルをエンコード ”ボタンが用意されており、そちらを使用しても同様の操作が行えます。

■デフォルトのファイルフラグ

この項目をチェックすることで、MP3ファイルのヘッダに情報を埋め込むことができます。これらの情報は音質に影響はなく、MP3の規格において、ヘッダ内にこれらの情報を保存するための領域が用意されています。将来、プレーヤやエンコーダなどMP3を扱うハードおよびソフトが必要とする情報になる可能性があります。

オリジナル

オリジナルかコピーかの情報を追加できます。この項目をチェックするとオリジナルに設定されます。

著作権

この項目をチェックすると著作権が保護されているというデータが追加されます。

CRC

この項目をチェックするとCRCチェック用のデータが2バイト分追加されます。

Tips: CRC (Cyclic Redundancy Check) とは

巡回冗長検査と言い、データ伝送やディスクなど媒体への読み書きが正確にできたかどうかを検査するための方法のひとつです。

MacMP3 について

登録者名やバージョン情報が表示されます。

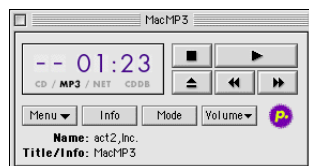
第6章:MacMP3 プレーヤ

この章では、エンコード機能と並ぶ、もう一つの大きな機能の「プレーヤ」について説明します。

コントロールウィンドウ

MacMP3 プレーヤの操作を行うインターフェースです。

各フェイスにはそれぞれインジケータウィンドウとインジケータエリア、操作ボタンが用意されています。フェイスの変更は「初期設定」パネルの「アピアランス」で行います。



機能は各フェイスに共通です。ここでは5色のタイプが用意されているi audionというフェイスを例に、まず各エリアやボタンの説明をします。



● インジケータウインドウ

現在の再生状況等が表示されます。CD／MP3モードの場合、クリックすることで、トラック／ファイルの現在の再生位置を示すスライダを表示し、再生位置をコントロールすることができます。また、optionキーを押しながらクリックすると、再生時間の表示を残り時間の表示に切り替えることができます。CDDBにアクセスするとCDDBランプが点滅します。

● インジケータエリア

現在選択されているモード、再生しているトラック／ファイルや接続中のサーバの情報が表示されます。

● 再生 (一時停止) ボタン

トラック／ファイルの再生を開始します。再生中は一時停止ボタンに変化します。一時停止した状態で再度再生ボタンをクリックすると一時停止が解除され、トラック／ファイルの再生を再開します。(NETモードでは一時停止ボタンは使用できません。)

● 停止ボタン

トラック／ファイルの再生を停止します。

● キューボタン

トラック／ファイルの再生をキューします。ワンクリックで次のトラック／ファイルの最初から再生を開始し、押し続けることで再生しながらトラック／ファイルを早送りします。(NET モードでは使用できません。)

● レビューボタン

トラック／ファイルの再生をレビューします。ワンクリックでそのトラック／ファイルの最初から再生を開始し、押し続けることで再生しながらトラック／ファイルを巻き戻します。(NET モードでは使用できません。)

● 取り出しボタン

マウントしている音楽CDの取り出し、選択中のプレイリストの切り替えに使用します。(NET モードでは使用できません。)

● メニューボタン

現在のモードに対応したメニューが表示されます。

< MP3 モード >

プレイリストウィンドウ／イコライザを表示することができます。また、選択中のプレイリストの内容がリスト表示され、選択することでダイレクトに再生を開始することが可能です。

< NET モード >

お気に入りウィンドウ／イコライザ／ストリームガイドを表示することや、現在接続中のサーバをお気に入りに追加することができます。また、お気に入りに登録したサーバがリスト表示され、選択することで接続し、再生を開始することが可能です。

< CD モード >

マウントしている音楽CDのトラックがリスト表示され、選択することでダイレクトに再生を開始することが可能です。

● インフォメーションボタン

インフォメーションウィンドウを開き、現在再生しているCD、MP3ファイルや接続中のサーバの情報を表示します。

● モードボタン

ワンクリックで MP3 → NET → CD の順にモードを切り替えます。押し続けることでモードのリストを表示し、選択することが可能です。

● ボリュームボタン

MacMP3 プレーヤの音量を調節するスライダを表示します。

MP3 ファイルを聴く

MP3 ファイルを再生する場合、“MP3 モード”を使用します。モードの切り替えはモードボタンかモードメニューで“MP3 モード”を選択して行います。MP3 モードでは、プレーヤ上のすべてのボタンがアクティブになり、使用可能となります。MP3 ファイルの再生には、ファイルから再生する方法とプレイリストから再生する方法があります。

<ファイルから再生する>

以下のいずれかの手順で MP3 ファイルを再生することができます。

1. MP3 ファイルをダブルクリックする
2. MP3 ファイルをプレーヤ上にドラッグ&ドロップする
3. MP3 ファイルをプレーヤのアイコンにドラッグ&ドロップする
4. ファイルメニューから“MP3 ファイルを開く”を選択し、ダイアログボックスから再生したいファイルを選択する
5. プレイリストが選択されていない場合は、プレーヤの再生ボタンを押すか、モードメニューの“再生”を選択し、ダイアログボックスから再生したいファイルを選択する

<プレイリストから再生する>

プレイリストは複数の MP3 ファイルの再生順情報を1つのファイルにまとめたもので、オリジナルの MP3 ファイルとは別に、MP3 ファイルのセットの情報をリストにして保持します。

MacMP3 プレーヤではプレイリストの作成、選択、再生が可能です。

1. プレイリストを作成する

以下のいずれかの方法で MacMP3 プレイリストウィンドウを開きます。

- メニューボタンから“プレイリストウィンドウを開く...”を選択
- ウィンドウメニューから“プレイリスト”を選択

プレイリストウィンドウ内に MP3 ファイルをドラッグし、リストに追加します。作成したプレイリストは、ファイルメニューから“プレイリストを保存” “プレイリストを別名で保存...”を選択して保存することで、次の「2.プレイリストを選択する」の手順でいつでも選択し、再生できるようになります。プレイリストを作成したら、プレーヤの再生ボタンを押すか、モードメニューの“再生”を選択し、リスト内の MP3 ファイルを再生します。

2. プレイリストを選択する

以下のいずれかの方法ですでに作成されているプレイリストを選択します。

- ファイルメニューから“プレイリストを開く...”を選択
- プレイリストメニューから選択
- プレイリストファイルのアイコンをプレーヤにドラッグ&ドロップ

プレーヤの再生ボタンを押すか、モードメニューの“再生”を選択し、プレイリストを再生してください。

また、プレイリストウインドウを開いている場合は、リスト内のファイルをダブルクリックすることでも再生を開始することができます。

選択しているプレイリストを切り替える場合は、プレイリストの再生を停止し、プレーヤのイジェクトボタンを押すか、ファイルメニューの“プレイリストを開く”を選択して新しいプレイリストを選択してください。

“MacMP3 v.2.0フォルダ”内の“プレイリスト”フォルダにプレイリストを保存することで、プレーヤのプレイリストメニューからダイレクトに選択できるようになります。詳細は「プレイリストメニュー」の説明箇所を参照してください。MacMP3プレイリストウインドウ内の操作とプレイリストの詳細については、「ウインドウメニュー」の「プレイリスト」の説明箇所を参照してください。

音楽CDを聴く

音楽CDを再生する場合、“CDモード”を使用します。モードの切り替えはモードボタンかモードメニューで“CDモード”を選択して行います。

CDモードでは、音楽CDをマウントした状態の時、プレーヤ上のすべてのボタンがアクティブになり、使用可能となります。

プレーヤの再生ボタンを押すか、モードメニューの“再生”を選択し、マウントしている音楽CDのトラックを再生します。

音楽CDの再生中にモードメニューから“この曲をMacMP3でエンコード”このCDをMacMP3でエンコード”を選択すると、再生中のトラック／CDをMP3ファイルにエンコードすることが可能です。

このモードでは音楽CDがマウントされると、編集メニューの“初期設定”パネル内の“ネットワーク”タブの設定に従ってCDDDBの情報を検索し、取得した情報をインジケータエリアに表示します。なお、CDDDBの情報を検索・取得するには、インターネットに接続している必要があります。

エンコーダが検索したCDDDB情報と同様、この情報はモードメニューから再生

中のトラック／CDをMacMP3にエンコードした場合にも保持されます。また、一度取得したCD情報はMacMP3によってシステム内に保存され、次回以降同じCDをマウントした時に参照できます。

CDDbから取得した情報は、デスクトップ上にマウントされたCDのアイコンやトラックファイルのアイコンの名称に反映され、MacMP3 プレーヤのインジケータエリアやインフォメーションウィンドウに表示されます。

ストリーミング再生を聴く

ストリーミング再生でMP3ファイルを受信／再生する場合、「NETモード」を使用します。NETモードをお使いになるには、インターネットに接続している必要があります。モードの切り替えはモードボタンかモードメニューで“NETモード”を選択して行います。

NETモードでは、レビュー／キュー／取り出しボタンは使用できず、再生状態に応じて再生ボタンと停止ボタンのいずれか一方だけがアクティブになります。プレーヤの再生ボタンを押すか、ファイルメニューの“サーバを開く...”を選択すると、“サーバに接続”ダイアログが表示され、接続先のアドレスやポート番号を入力することでストリーミング再生を開始します。

また、お気に入りやストリームガイドからサーバに接続し、ストリーミング再生を行うことも可能です。初めてNETモードをお使いになる場合は、ストリームガイドのご使用をおすすめいたします。

お気に入り／ストリームガイドからの再生は、それぞれ以下の手順で行います。

<ストリームガイドからストリーミング再生する>

プレーヤのメニューボタンから“ストリームガイドを開く...”またはウィンドウメニューの“ストリームガイド”を選択し、ストリームガイドウィンドウを表示します。MacMP3プレーヤは人気のあるサーバを検索してURLや転送速度、リスナーの状態等の情報をストリームガイドとして表示します。接続したいサーバをダブルクリックするか、プレーヤ上にドラッグして再生を開始します。

ストリーミングガイドウィンドウに表示されるサーバの数は“初期設定”パネルで指定します。詳しくは後述する「メニュー」の「編集メニュー」の「初期設定」の説明箇所を参照してください。

<お気に入りからストリーミング再生する>

1. プレーヤーのメニューボタンから“ お気に入りウィンドウを開く...” またはウィンドウメニューの“ お気に入りのサーバ” を選択し、お気に入りのサーバウィンドウを表示します。登録されているお気に入りをダブルクリックするか、プレーヤー上にドラッグして再生を開始します。
2. プレーヤーのメニューボタンに、お気に入りに登録したサーバがリスト表示されます。選択することで接続し、再生を開始することが可能です。

メニュー

■ファイルメニュー

ファイル	
新規プレイリスト	⌘N
新規フォルダ	
Finder で前面に表示	
MP3 ファイルを開く...	⇧⌘O
サーバを開く...	⌘O
プレイリストを開く...	⌘O
ファイルをプレイリストに追加...	
閉じる	⌘W
プレイリストを保存	⌘S
プレイリストを別名で保存...	
終了	⌘Q

新規プレイリスト

このコマンドを選択すると、新しくプレイリストウィンドウを開き、新規のプレイリストを作成することができます。

新規フォルダ

プレイリストウィンドウを開いている場合に選択できます。

プレイリストウィンドウの中に“ 名称未設定フォルダ ”という新規フォルダを作成します。

Finder で前面に表示

プレイリストウィンドウを開いている場合に選択できます。

ウィンドウ内でMP3ファイルを選択し、このコマンドを選択すると、Finderでそのファイルの保存されているフォルダのウィンドウを開きます。

MP3 ファイルを開く...

このコマンドを選択すると、他のモードを使用している場合は自動的に MP3

モードに切り替わります。“開く”ダイアログでMP3ファイルを選択し、再生を開始することができます。

サーバを開く…

このコマンドを選択すると、他のモードを使用している場合は自動的に NET モードに切り替わります。“サーバに接続”ダイアログで接続先のアドレスを入力し、ストリーミング再生を開始することができます。

プレイリストを開く…

このコマンドを選択すると、他のモードを使用している場合は自動的に MP3 モードに切り替わります。MP3 モードでプレイリストが選択されていた場合、“開く”ダイアログで新しいプレイリストを選択して切り替えることができます。選択中のプレイリストに変更が加えられていた場合は、閉じる前にプレイリストを保存するかどうか訊ねるダイアログが表示されます。

ファイルをプレイリストに追加…

MP3 モードで選択しているプレイリストにMP3 ファイルを追加することができます。このコマンドは MP3 モード以外の他のモードでも使用可能です。

閉じる

アクティブになっているプレイリスト / お気に入り / ストリームガイド / インフォメーション等のウインドウを閉じます。

プレイリストを保存

選択しているプレイリストに変更があった場合、同名で上書き保存します。

プレイリストを別名で保存

選択しているプレイリストを別名で保存することができます。“保存”ダイアログでプレイリストの新しい名称を入力し、保存します。

終了

再生を中止し、MacMP3 プレーヤを終了します。

■編集メニュー

編集	
取消し不可	⌘Z
カット	⌘X
コピー	⌘C
ペースト	⌘V
消去	
すべてを選択	⌘A
初期設定...	⌘;

取り消し

直前の操作を取り消します。(操作によっては取り消せないことがあります。)

カット／コピー／ペースト／消去

選択状態にあるファイル名などのテキストに対して有効です。ペーストは、クリップボードにテキストデータがある場合にアクティブになります。

すべてを選択

アクティブになっているウインドウ内の項目をすべて選択します。

初期設定

MacMP3 プレーヤの設定を行う初期設定パネルを表示します。

設定項目を変更した場合、“保存”をクリックすると変更箇所が保存され、有効になります。“キャンセル”をクリックすると変更は反映されず、変更前の設定のまま初期設定パネルを閉じます。

初期設定パネルには“アピアランス” “一般設定” “詳細設定” “ネットワーク” の4つのタブがあります。以下にそれぞれの設定項目を説明します。

<アピアランス>



フェイス選択ウィンドウ

MacMP3プレーヤのフェイス(アピアランス)を選択できます。このウィンドウには、“MacMP3 v.2.0フォルダ”内の“フェイス”フォルダにあるフェイスデータが表示されます。デフォルトでは10のフェイスがインストールされますが、アクト・ツーWEBサイト内のMacMP3サイト (<http://mp3.act2.co.jp/>) からダウンロードしたフェイスや、ユーザが自分で作ったフェイスを追加する場合、このフォルダにデータファイルを追加することで、このウィンドウからの選択が可能になります。

- ☐ アルファチャネルの使用(シャドウ、トランスルーセント等)

この項目をチェックすると、各フェイスのシャドウやトランスルーセントのテクスチャを表現するため、アルファチャネルを使用します。

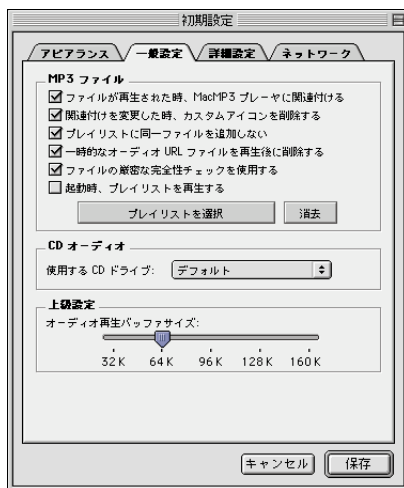
- ☐ バックグラウンドでの実行時に描画回数を最小限にする

この項目をチェックすると、MacMP3プレーヤ以外のアプリケーションやウィンドウがアクティブになっている時、バックグラウンドで各フェイスのアピアランスを再描画する回数を最小限に留めます。

- ☐ コントロールウィンドウのライブドラッグを可能にする

この項目をチェックすると、MacMP3プレーヤをドラッグして移動した際、アウトラインのみの表示とならずに、アピアランスを保持したままで移動することができます。

<一般設定>



MP3 ファイル

- ☐ ファイルが再生された時、MacMP3 プレーヤーに関連付ける
一度MacMP3プレーヤーで開こうとしたファイルに対し、自動的にMacMP3のタイプとクリエータを付加するかどうかを設定します。
- ☐ 関連付けを変更した時、カスタムアイコンを削除する
カスタムアイコンを持っているファイルをMacMP3に関連付けた時、カスタムアイコンを削除してMacMP3ファイルのアイコンを表示するかどうかを設定します。
- ☐ プレイリストに同一ファイルを追加しない
すでにプレイリストに追加されているMP3ファイルを同一のリストに再度追加しようとした際、強制的にスキップするかどうかを設定します。
- ☐ 一時的なオーディオ URL ファイルを再生後に削除する
ブラウザを使用してMP3ファイルをダウンロードした場合、MP3ファイルは指定のダウンロードフォルダに保存されます。MacMP3をMP3ファイルのダウンロードヘルパーとして設定していると、ダウンロード終了後にMacMP3プレーヤーが起動し、ダウンロードしたファイルの再生を開始します。この時、ファイルをハードディスク上に残さず、ダウンロード後に再生だけしたい場合には、この項目をチェックすることで、再生後にダウンロードした一時ファイルを自動的に削除することができます。

☐ ファイルの厳密な完全性チェックを使用する

MacMP3には再生するMP3ファイルが壊れていないかをチェックする機能がありますが、MacMP3以外のエンコーダで作成されたMP3ファイルなど、場合により、実際には正常なファイルも破損していると認識され、再生が行えないことがまれにあります。

このチェックボックスをオフにすると、仮にファイルが本当に壊れていても、実質上すべてのファイルを再生させることができます。

ただし、実際に破損したMP3ファイルや音声ファイル以外のデータを再生しようとした場合にもMacMP3プレーヤが受け付けてしまい、大音量の不快な雑音を発するなど、予想外の結果を招く可能性があります。このチェックは通常オンにしておき、確実にMP3音声データを含むファイルがMacMP3プレーヤで再生できなかった場合にだけ、オフにして試されることをおすすめします。

☐ 起動時、プレイリストを再生する

この項目をチェックすることで、MacMP3プレーヤ起動時に自動的にプレイリストの再生を行うように設定することができます。“プレイリストを選択”ボタンで再生するプレイリストを選択し、“消去”ボタンで選択を解除します。項目をチェックしていても、プレイリストが選択されていないと自動再生は行われません。

CD オーディオ

☐ 使用するCDドライブ

複数のCDドライブを同時に使用していた場合、MacMP3プレーヤでの音楽CD再生に使用するドライブを指定します。

上級設定

☐ オーディオ再生バッファサイズ

MP3ファイル再生時のバッファサイズを設定します。ローカルに保存されたMP3ファイルの再生時にはあまり大きなバッファは必要ありませんが、ネットワークドライブ上のMP3ファイルを再生する際などには、バッファサイズを大きく設定することでスムーズな再生がサポートされます。ただし、バッファサイズを大きくすることで、再生を開始するまでに要する時間も増加するので注意が必要です。

<詳細設定>

CD モードディスプレイ

CDモードでの再生時に、フェイスのインジケータウインドウ内のライン1とライン2に表示する項目をそれぞれ設定します。

いずれもプルダウンメニューから選択することが可能です。

MP3 モードディスプレイ

MP3モードでの再生時に、フェイスのインジケータウインドウ内のライン1とライン2に表示する項目をそれぞれ設定します。

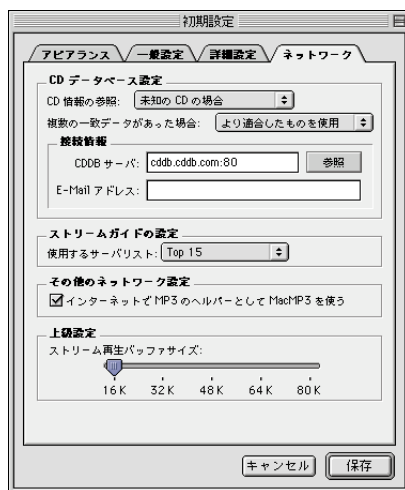
いずれもプルダウンメニューから選択することが可能です。

NET モードディスプレイ

NETモードでの再生時に、フェイスのインジケータウインドウ内のライン1とライン2に表示する項目をそれぞれ設定します。

いずれもプルダウンメニューから選択することが可能です。

<ネットワーク>



CD データベース設定

☐ CD 情報の参照

✓ 未知の CD の場合
常にする
常にしない

どのような場合に CD データベースの検索を行うかを設定します。

未知の CD の場合:

一度 CD データベースから取得した CD 情報は MacMP3 プレーヤによってハードディスク内に保持されます。この項目を選択すると、ハードディスク内に

情報が存在していないCDをマウントした場合のみ、CDデータベースの検索を行うよう設定します。

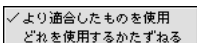
常にする：

マウントしたCDすべてについてCDデータベースの検索を行うよう設定します。

常にしない：

マウントしたCDすべてについてCDデータベースの検索を行わないよう設定します。

- ☐ 複数の一致データがあった場合



CDデータベースの検索結果として、マウントしているCDのシリアル番号に該当する候補が複数見つかった場合の確定方法を設定します。

より適合したものを使用：

CDのシリアル番号以外に演奏時間などの情報を照合し、複数候補の中から最も適合したものを使用します。

どれを使用するかたずねる：

ダイアログを表示し、どの候補を使用するかユーザに訊ねます。

接続情報

- ☐ CDDb サーバ

CD情報を取得するために検索を行うデータベースサーバを設定します。“参照”ボタンを押すことで使用可能なサーバが表示され、一番近いサーバを選択することができます。

- ☐ E-Mail アドレス

CDDbサーバに接続する際に必要となるユーザのメールアドレスを設定します。ここが空欄だと接続できないことがありますので注意してください。

ストリームガイドの設定

- ☐ 使用するサーバリスト



ストリームガイドに表示されるストリームサーバの数を設定します。

その他のネットワーク設定

- ☐ インターネットでMP3のヘルパーとしてMacMP3を使う

インストール後、初めてMacMP3プレーヤを起動したとき、InternetConfigまた

は「インターネット」コントロールパネルに対し、MacMP3プレーヤをMP3ファイルのヘルパーとして追加し、関連付けを行うかどうかを設定することができます。この項目で、その設定を変更し、ヘルパーの関連付けの追加／削除を行うことができます。

上級設定

☐ ストリーム再生バッファサイズ

ストリーム再生時のバッファサイズを設定します。バッファサイズを大きく設定することでスムーズな再生がサポートされます。ただし、バッファサイズを大きくすることで、再生を開始するまでに要する時間も増加するので注意が必要です。

■モードメニュー

モード	
CD モード	⌘1
取得した CD 情報を消去 取得した CD 情報を更新 この曲を MacMP3 でエンコード この CD を MacMP3 でエンコード	
MP3 モード	⌘2
NET モード	⌘3
サーバをお気に入り(に)追加 ストリームガイドを更新	
再生	
停止	⌘T
取り出し	⌘E
カラオケ	⌘K

CD モード

音楽CDの再生を行うモードです。プレーヤのすべてのボタンがアクティブになります。CDモードで音楽CDを再生する手順などの詳細については、前述の「音楽CDを聴く」の項を参照してください。

取得した CD 情報を消去

CDモード使用時に選択可能です。

マウントしているCDの情報をCDDbから取得していた場合、その情報をハードディスク上から削除します。

この操作を行うことで、CD情報を持たない不明なCDとしてマウントさせるとや、再度CD情報を取得し直すことが可能になります。

取得した CD 情報を更新

CD モード使用時に選択可能です。

マウントしているCDの情報をCDDDBから取得していた場合、その情報を最新の情報に更新します。

この操作を行うことで、以前の情報取得時にはCDDDBに登録されておらず、不明なCDとして情報を取得してしまっていたCDも、その後にCDDDBに登録されていた場合、正しい情報を取得し直すことが可能になります。

この曲を MacMP3 でエンコード

CD モード使用時に選択可能です。

再生中のトラックを MP3 ファイルにエンコードすることができます。

このコマンドを使用すると、MacMP3プレーヤによるCDの再生は自動的に中止され、MacMP3 エンコーダによるエンコードが開始されます。

この CD を MacMP3 でエンコード

CD モード使用時に選択可能です。

再生中の音楽CDの全トラックを MP3 ファイルにエンコードし、“MacMP3 設定”コントロールパネルで設定された場所にMP3ファイルが作成されます。その際、音楽CDの名称のフォルダが作成され、その中に保存されます。

このコマンドを使用すると、MacMP3プレーヤによるCDの再生は自動的に中止され、MacMP3 エンコーダによるエンコードが開始されます。

MP3 モード

既存のMP3ファイルやプレイリストの再生を行うモードです。プレーヤのすべてのボタンがアクティブになります。

MP3モードでMP3ファイルやプレイリストの再生を行う手順などの詳細などの詳細については、前述の「MP3 ファイルを聴く」の項を参照してください。

NET モード

インターネットを通じて配信されているMP3ファイルを受信しながら再生(ストリーミング再生)するモードです。

レビュー／キュー／取り出しボタンは使用できず、再生状態に応じて再生ボタンと停止ボタンのいずれか一方だけがアクティブになります。

NETモードでストリーミング再生を行う手順などの詳細については、前述の「ストリーミング再生を聴く」の項を参照してください。

サーバをお気に入りに追加

NET モード使用時に選択可能です。

接続中のサーバをお気に入りに追加することができます。

ストリームガイドを更新

NETモードでストリームガイドウィンドウを表示している場合に選択可能です。

ストリームガイドウィンドウを開くと、編集メニューの「初期設定」パネル内のネットワークタブで設定したサーバリストが検索され、表示されます。サーバリストは約5分間隔で更新されています。このコマンドを選択すると、検索／表示した情報を最新のリストに更新することができます。

再生

モードに応じてトラック／MP3ファイルの再生を行います。プレーヤの再生ボタンを押した場合と同様の操作が行えます。トラック／MP3ファイルの再生中に選択すると一時停止し、再度選択することで一時停止を解除します。

停止

トラック／MP3ファイルの再生を停止します。プレーヤの停止ボタンを押した場合と同様の操作が行えます。

取り出し

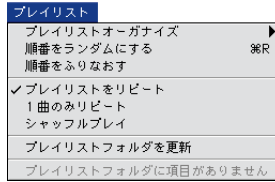
マウントしている音楽CDの取り出し、選択中のプレイリストの切り替えを行います。プレーヤの取り出しボタンを押した場合と同様の操作が行えます。(NETモードでは使用できません。)

カラオケ

MP3 モード使用時に選択可能です。

一般的なステレオのトラックにおけるボーカルを再生時にカットすることを目的とした機能を使用することができます。

■プレイリストメニュー



プレイリストオーガナイズ

MP3 モード使用時に選択可能です。

プレイリストに登録されているMP3ファイルを、ID3タグの“アーティスト”などの情報でフォルダ分けすることができます。“アーティスト別”でオーガナイズすると、アーティスト名のフォルダの中で、アルバム名でのフォルダ分けを行います。アーティスト名やアルバム名でだけオーガナイズをしたい場合、“アルバム別のみ” “アーティスト別のみ”を使用してください。

順番をランダムにする

MP3 モード使用時に選択可能です。

選択中のプレイリストウィンドウのMP3ファイルの再生順をランダムに並び替えます。

順番をふりなおす

MP3 モード使用時に選択可能です。

選択中のプレイリストウィンドウのMP3ファイルは、ウィンドウ上部の“名前” “演奏時間” “アーティスト” “タイトル” “アルバム” “転送レート” “ジャンル” “年” “コメント” “バー”をクリックしてソートすることが可能です。ソート後、このコマンドを選択すると、ソートされた通りに順番がふりなおされ、再生順が更新されます。

プレイリストをリPEAT

MP3 モード使用時に選択可能です。

このコマンドをチェックしておく、選択中のプレイリストで最後のMP3ファイルの再生を終了した後、自動的にリストの一番最初から繰り返して再生することができます。

1 曲のみリPEAT

MP3 モード使用時に選択可能です。

このコマンドをチェックしておく、再生中のMP3ファイルを自動的に繰り返

して再生することができます。

このコマンドはプレイリストから再生している MP3 ファイルにのみ適用され、MP3 ファイルから直接再生を行っている場合には有効になりません。

シャッフルプレイ

MP3 モード使用時に選択可能です。

選択中のプレイリスト内のファイルの順番をランダムにシャッフルします。

プレイリストフォルダを更新

MP3 モード使用時に選択可能です。

プレイリストメニューの一番下には、“ MacMP3 v.2.0 フォルダ ”内の“ プレイリスト ”フォルダに保存されたプレイリストファイルの名前が表示され、直接プレイリストにアクセスできます。

MacMP3 プレーヤ起動後に作成したプレイリストファイルをメニューに表示させたい場合、このコマンドを選択して、メニューの表示を最新の状態に更新することができます。

■ ツールメニュー

MP3 タグエディタ

ID3 タグの情報を編集するウインドウを表示します。

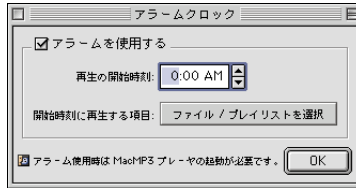


プレイリストウインドウ内で1つのMP3ファイルを選択した場合、そのファイルのタグ情報が入力エリアに表示されます。この情報を修正し“ 保存 ”ボタンをクリックすることで、変更がMP3ファイルに反映されます。プレイリストウインドウ

内で複数のMP3ファイルを選択した場合、入力エリアが空欄の状態のエディタ画面が表示されます。ここで入力し、“保存”ボタンをクリックすることで、選択したファイルすべてにその情報が反映されます。また、このエディタ画面にMP3ファイルをドラッグしても同様の操作が可能です。

アラームクロック

MP3のタイマー再生を設定するウインドウを表示します。



☐ アラームを使用する

MP3のタイマー再生を行う場合にチェックします。

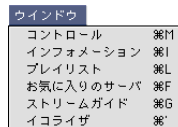
再生の開始時間

タイマー再生を行う時間を設定します。

開始時刻に再生する項目

“ファイル／プレイリストの選択”ボタンをクリックし、選択ダイアログからタイマー再生を行うファイルを選択します。

■ウインドウメニュー



コントロール

MacMP3 プレーヤのコントロールウインドウをアクティブにします。

コントロールウインドウはプレーヤのインタフェースに統合されているため、このコマンドを選択しても新しいウインドウが開かれることはありません。他のウインドウが開かれ、アクティブになっている場合、コントロールウインドウを前面に出し、操作を可能にするために使用します。

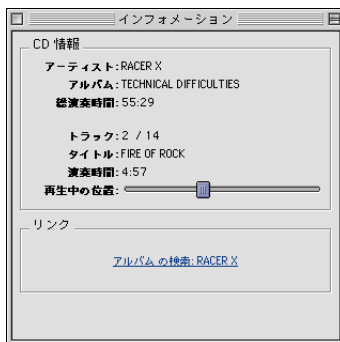
インフォメーション

インフォメーションウィンドウを表示します。

インフォメーションウィンドウでは、モードに応じて現在再生しているトラック／ファイルや接続中のサーバの情報を表示します。

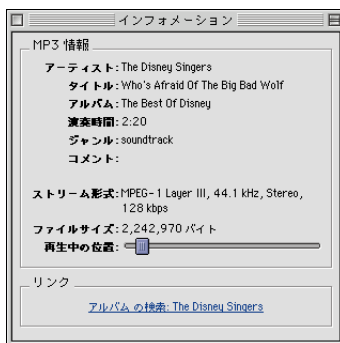
下部の「リンク」では音楽CDサイトに接続し、現在再生しているトラック／ファイルやストリーム再生中のMP3ファイルのアーティスト名情報を参照し、そのアーティストがリリースしているアルバム情報の検索を行うことができます。

<CDモード>



CDDb から取得した CD 情報がある場合は参照し、再生中の音楽 CD のアーティスト、アルバム名、総演奏時間やトラックのタイトル、演奏時間などの情報を表示します。“再生中の位置”のスライダーを移動すると、トラック内で再生位置を変えることができます。

<MP3モード>



ID3タグを参照し、再生中のMP3ファイルのアーティスト、タイトル、演奏時間、ジャンル、コメントなどの情報を表示します。“再生中の位置”のスライダーを移動すると、MP3 ファイル内で再生位置を変えることができます。

<NET モード>



接続中のストリームサーバの URL、接続状況、ストリーム名、ジャンル、WEB サイトの URL などの情報を表示します。

プレイリスト

プレイリストウィンドウを表示します。



プレイリストウィンドウでは、MP3モードで選択されているプレイリストのファイルが“順番”“名前”“演奏時間”“アーティスト”“タイトル”“アルバム”“転送レート”“ジャンル”“年”“コメント”で表示されます。この列順はドラッグして並び替えることが可能です。

ウィンドウ内でcommandキーを押しながらドラッグすると、ポインタが手のひらカーソルに切り替わり、スクロールアローを使用せずにウィンドウをスクロールすることができます。

ウィンドウ上部には、リストに含まれているファイル数、すべてのファイルの演奏時間の合計が表示されます。

“名前”は、デフォルトではオリジナルのMP3ファイルのファイル名が表示されています。これを、リスト内だけで使用する名前に変更することができますので、オリジナルのファイル名を変更することなく、リスト内で分かりやすい名前を使ってMP3ファイルを管理することができます。

<プレイリストに MP3 ファイルを追加する>

以下の方法で追加することができます。

- プレイリストウィンドウへMP3 ファイルをドラッグします(フォルダごとの追加も可能です)。
- ファイルメニューから“ ファイルをプレイリストに追加...”を選択し、“ 開く ”ダイアログボックスから選択したMP3ファイルを現在選択されているプレイリストに追加することができます。

<プレイリストの演奏順を変更する>

以下の方法で変更することができます。

- プレイリストウィンドウ上部の“ 順番 ” “ 名前 ” “ 演奏順 ”等のラベル欄をクリックすると、右端の三角形のソート順ボタンの向きに応じ、各項目を昇順／降順でソートし、表示順を変更します。その後、プレイリストメニューから“ 順番をふりなおす ”を選択し、表示順通りに“ 順番 ”を変更してください。
- プレイリストウィンドウ内でファイルをドラッグすることで、“ 順番 ”を変更できます。
- プレーヤーのプレイリストメニューから“ 順番をランダムにする ”を選択すると、リスト内のファイルの“ 順番 ”がランダムにふりなおされます。

<プレイリストのアイコン>

以下の4種類があります。



普通の MP3 ファイルを示すアイコンです。



現在再生中のMP3ファイルを示すアイコンです。緑色で表示されています。プレイリストが再生されていない場合は、次回再生開始時にこのファイルから再生されます。



このプレイリストを選択してから、一度以上再生されたMP3ファイルを示すアイコンです。グレーで表示されています。



プレイリストがオリジナルのMP3ファイルを参照できなかったことを示す赤い斜線が入ったアイコンです。このアイコンのMP3ファイルは再生されません。

＜プレイリストから MP3 ファイルを削除する＞

リスト内でMP3ファイルを選択した状態でdeleteキーを押すと、オリジナルのファイルはそのまま、リスト内でのみファイルを削除することができます。以下の方法で削除した場合は、オリジナルのファイルに対しても変更が加えられるので、注意が必要です。

- リスト内でファイルを選択し、編集メニューの「削除」を選択すると、リスト内からだけでなく、オリジナルのファイルも同時に削除されます。この場合、ゴミ箱に移動されず、ハードディスクから完全に削除されますので注意してください。
- リスト内からファイルをゴミ箱へドラッグすると、リスト内から削除されるのと同時に、オリジナルのファイルがゴミ箱に移動します。

お気に入りのサーバ

お気に入りのサーバウインドウを表示します。



このウインドウには、お気に入りとして登録したストリームサーバが「URL」「名前」で表示されます。この列順はドラッグして並び替えることが可能です。

お気に入りのサーバウインドウ上部の「URL」「名前」ラベル欄をクリックすると、右端の三角形のソート順ボタンの向きに応じ、各項目を昇順／降順でソートし、表示順を変更します。

ウインドウ内でcommandキーを押しながらドラッグすると、ポインタが手のひらカーソルに切り替わり、スクロールアローを使用せずにウインドウをスクロールすることができます。

＜サーバをお気に入りとして登録する＞

以下の方法で登録することができます。

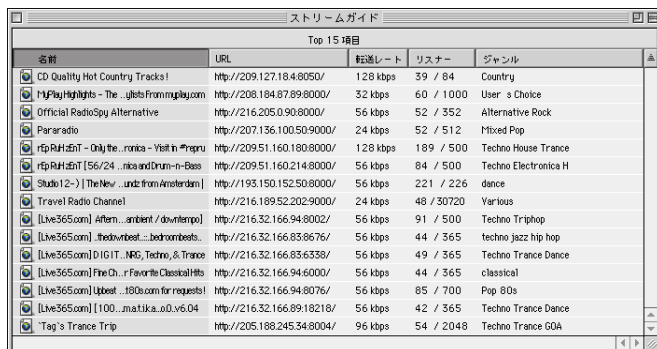
1. ストリームガイドで表示されたサーバを登録する場合、ストリームガイドウイ

ンドウからお気に入りのサーバウインドウへサーバをドラッグ&ドロップします。

2. ストリーミング再生中にモードメニューから“サーバをお気に入りの追加”することで、現在接続しているサーバをお気に入りとして登録することができます。

ストリームガイド

ストリームガイドウインドウを表示します。



このウインドウを表示すると、編集メニューの“初期設定”パネルのネットワークの設定に従って人気のあるサーバが検索され、“URL”名前“転送レート”リスナー“ジャンル”が表示されます。この列順はドラッグして並び替えることが可能です。

ストリームガイドウインドウ上部の“URL”名前“転送レート”リスナー“ジャンル”ラベル欄をクリックすると、右端の三角形のソート順ボタンの向きに応じ、各項目を昇順／降順でソートし、表示順を変更します。

ウインドウ内でcommandキーを押しながらドラッグすると、ポインタが手のひらカーソルに切り替わり、スクロールアローを使用せずにウインドウをスクロールすることができます。

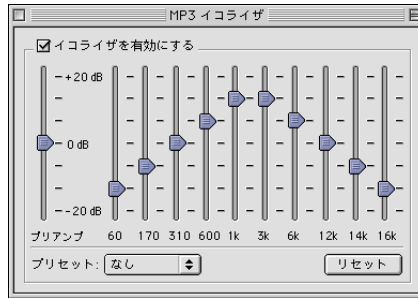
このウインドウでサーバをダブルクリックするか、プレーヤにドラッグして再生を開始することができます。

人気のあるサーバのリストは5分間隔で更新されていますので、ウインドウを開

いて表示した後に最新の情報に更新したい場合は、モードメニューの「ストリームガイドを更新」を選択します。

イコライザ

“MP3 イコライザ”ウィンドウを表示します。



イコライザはNETモード／MP3モードでのMP3再生時に使用可能です。CDモードでの再生時には有効ではありません。

“イコライザを有効にする”にチェックをすることで、イコライザを使用可能にし、各スライダを使用してイコライジングを設定します。スライダによる設定はリアルタイムに再生中の音声に反映されるため、確認をしながら好みの設定を行うことができます。

“プリセット”でプルダウンされるメニューから、再生するトラックの曲調などに応じて好みのセットを選択すると、あらかじめ登録されている設定を使用してMP3ファイルを再生することができます。

設定を取り消し、初期値に戻したい場合は“リセット”ボタンで設定をリセットします。

第7章:FAQ(よくある質問と回答)

一般:

Q: MacMP3で市販の音楽CDからMP3ファイルを作成し、友人に配ろうと思うのですが何か問題がありますか?

A: 個人で楽しむ範囲内で市販の音楽CDをMP3ファイルにする場合は問題ないことがほとんどですが、著作権で保護された音源から作成したMP3ファイルを著作者に無断で配布したり、ホームページに掲載することは著作権法によって禁止されています。ご注意ください。

著作権に関する最新情報の詳細は、日本音楽著作権協会(JASRAC)のページ(<http://www.jasrac.or.jp/>)等をご覧ください。

Q: CDデータベース(CDDDB)とは、どんなものですか?

A: CDデータベース(CDDDB)は、インターネット上に存在するCDタイトル、アーティスト名、曲名等のデータベースです。MacMP3ではこのCDDDBに接続することによって、音楽CDの再生時やMP3ファイルへのエンコード時にそれらの情報を表示／反映することができます。CDDDBにアクセスするためには、インターネットに接続している必要があります。

プレーヤ:

Q: 音楽CDをプレーヤで再生する際、CDデータベース(CDDDB)に接続しましたが、情報が取得できず「不明なCD」と表示されます。

A: プレーヤの編集メニュー内「初期設定」パネルの「ネットワーク」タブで、「CDデータベース設定」項目のCD情報の参照を「常にする」もしくは「未知のCDの場合」に設定している場合、MacMP3はマウントした音楽CDの情報をCDデータベース(CDDDB)で検索します。このCDDDBは全世界に向けられたデータベースのため、日本で発売、発表された一部の音楽CDの情報は登録されていない場合があります。情報が取得できないことが原因です。今後、CDDDBに日本で発売、発表された音楽CDの情報が増えることで、解決してゆくでしょう。

Q: ひとつのプレイリストに、同じ曲をいくつも登録することはできますか？

A: プレーヤーの編集メニュー内「初期設定」パネルの「一般設定」タブで、「プレイリストに同一ファイルを追加しない」のチェックを外しておくことで可能になります。

Q: ひとつのプレイリストに何曲まで登録できますか？

A: 制限はほとんどありません。少なくとも3000曲、合計再生時間にして250時間以上を登録することが可能です。

Q: MP3再生でカラオケ機能を使用したところ、曲によってボーカルが残ったり、音質が劣化して聞こえます。

A: MacMP3プレーヤーのカラオケ機能は、一般的なトラックにおけるボーカル部分をカットするための機能です。そのため、元のトラックによっては、ボーカルが完全にはカットされなかったり、ボーカル以外の部分がカットされてしまい、音質が悪く聴こえることがあります。これはボーカルをカットするためのテクノロジーの仕様ですので、こういった曲のMP3を再生する際はカラオケ機能を使用しないことをおすすめします。

Q: MP3ファイルを再生する際、音が飛んでしまったり、雑音が入ったりします。

A: 処理能力の低いプロセッサを搭載したMacintoshではそのようなことがあるかもしれません。この場合、仮想メモリを「切」にして再生してみてください。ほとんどの場合回避できると思われます。MacMP3のコンポーネントは完全なマルチタスクを実現しており、ある程度処理能力の高いプロセッサを搭載したMacintoshでは、MP3ファイルの再生中に他の大きなアプリケーションを立ち上げたり終了したりしても、音が途切れることはほとんどありません。

Q: オリジナルのフェイスを作成したいのですが、どうしたらいいですか？

A: ResEditやAdobePhotoshop(R)など、PICT画像の編集が可能なソフトをご使用になれる方ならどなたでもオリジナルフェイスを作成していただけます。

アクト・ツー WEB サイト(<http://www.act2.co.jp/>)内の MacMP3 サイト(<http://mp3.act2.co.jp/>)では、フェイスの作成方法を説明した PDF ファイルがダウンロードできます。

また、MacMP3サイトのフェイスコーナー(<http://mp3.act2.co.jp/face/>)では、オリジナルフェイスの作成手順を詳しくご案内しています。PDFと併せてご覧いただき、ぜひお好みのフェイスを作成してみてください。

Q: プレーヤの一部が欠けて表示されることがあります。

A: 描画能力の低い一部のMacintoshでは、プレーヤの一部が欠けてしまうことがあるかもしれません。その時は、プレーヤの編集メニュー内「初期設定」パネルの「アピアランス」タブで、「アルファチャネルの使用」のチェックを外すと回避できる可能性があります。

また、プレーヤをドラッグで移動した際の再描画によって表示の一部が欠けるような場合には、「アピアランス」タブの「コントロールウインドウのライブドラッグを可能にする」のチェックを外してみてください。

Q: Windows マシンで作成した MP3 ファイルを MacMP3 で再生することはできますか？

A: 可能です。ただし、Windowsで作成されたMP3ファイルには、Macintoshプラットフォーム上でMP3ファイルだと認識させるために必要な「ファイルタイプ」と「クリエータ」情報が含まれていない場合があります。これらの情報を編集／追加できるツール(File Buddy など)を使用し、タイプを『MP3』（最後に半角スペースが入ります）に編集することでMacMP3でも再生できるようになります。

それでも再生に支障が見られる場合、プレーヤの「初期設定」パネル内「一般設定」タブで、「ファイルの厳密な完全性チェックを使用する」のチェックを外して再生してみてください。

Q: MacMP3 プレーヤの操作を AppleScript で自動化したいのですが？

A: Mac OS に付属している「スクリプト編集プログラム」を起動し、ファイルメニューから「用語説明を開く...」の選択ダイアログで「MacMP3 プレーヤ」を選択してください。MacMP3 プレーヤを制御するために使用できる AppleScript のコマンドの用語集を参照することができます。

エンコーダ：

Q： MacMP3エンコーダを起動し、パネルからエンコード方法を選択してエンコードを行ったところ、エンコードの最中にパネルを閉じると、エンコードが終了してしまいました。

A： MacMP3エンコーダのウィザード画面を閉じると、MacMP3エンコーダのアプリケーションが終了します。ウィザード画面からエンコードを行っている場合は、この画面を閉じないように注意してください。
音楽CDからのエンコードを行う場合、CDからトラックをドラッグ&ドロップしたり、プレーヤのモードメニューから“この曲をMacMP3でエンコード” “このCDをMacMP3でエンコード”を選択することでもMP3を作成できます。エンコーダ画面を開いたままにたくない場合、これらの方法と併せて使い分けていただくことをおすすめします。

Q： MacMP3で作成したMP3ファイルを、CD-Rに保存してCDプレーヤで聞くことは可能ですか？

A： オーディオCDとMP3では音声データの規格が全く異なるため、一般のオーディオCDプレーヤでMP3ファイルを再生することはできません。強制的に再生を試みた場合、大きな雑音が再生され、耳を痛めたり、スピーカが壊れるなどの音響機器の故障につながる可能性がありますので、絶対に行わないでください。

Q： 音楽CDをマウントしましたが、CD名やトラック名がOS標準の名称になったままです。インターネットに接続できる環境は整っています。

A： “MacMP3 設定”コントロールパネル内“CD 情報”タブを確認してください。“CD データベース(CDDB)”が“使用しない”に設定されている場合、MacMP3エンコーダはCDDBに接続し、マウントした音楽CDの情報を検索することはありません。情報を取得したい場合は“オンライン時のみ”もしくは“常に”に設定してください。“オンライン時のみ”に設定されている場合、インターネット接続が確立し、音楽CDがマウントされた上でWebブラウジング等データの転送が行われた段階でCDDBを参照します。インターネットに常時接続されている環境であれば、“常に”に設定することをおすすめします。

Q: 音楽CDからトラックをドラッグ & ドロップする以外のエンコード方法がありますか？

A: CDトラックをダブルクリックすることでも可能です。その際、MP3ファイルのエンコード先は、“ MacMP3 設定 ”コントロールパネル内“ 設定 ”タブの“ ファイルタイプと場所 ”で設定した“ MP3ファイルのエンコード先 ”になります。

また、MacMP3エンコーダを起動し、ウィザード画面のボタンからエンコードを行うことも可能です。

Q: “ MacMP3 設定 ”コントロールパネルで“ オフ ”にしたまま、音楽CDからエンコードすることは可能ですか？

A: 可能です。“ MacMP3 v.2.0 フォルダ ”にインストールされている“ MacMP3エンコーダ ”アプリケーションに音楽CDのトラックをドラッグ & ドロップしてください。また、このアプリケーションをダブルクリックして起動すると、エンコーダのウィザード画面が表示されます。ここからエンコード方法のボタンを選択し、音楽CD、AIFFやWAVファイル、内蔵／外部マイクから入力した音声などをMP3にエンコードできます。

Q: CDからMP3ファイルの作成にはどれくらいの時間がかかりますか？

A: MP3ファイルの作成にかかる時間は、そのエンコードしようとしているMacintoshの処理速度とCD-ROMドライブの読み出し速度に深く依存します。例えば、iMacでエンコードを行った場合、デフォルトの設定ではオリジナルのCDの再生時間の約1/3～1/4がエンコードに要する時間の目安となります。

Q: 可変ビットレート (VBR) とはなんですか？

A: 通常、MP3ファイルへのエンコードする際は決められたビットレート (128kbps など) でエンコードしますが、VBRエンコードを使用することで、ビットレートを変化させながらエンコードを行うことができます。音の変化の激しい部分ではビットレートを高くし、無音部分では低くエンコードするため、高い音質を保ちつつ、ファイルサイズの増大を押さえることが可能です。

MacMP3では、VBRエンコード時のビットレートの変幅を設定できますので、より最適なエンコードが行えます。しかし、VBR エンコードされたMP3ファイルの再生に対応していないプレーヤもありますので、注意が必要です。

Q: 再生しながらMP3ファイルへエンコードすると、音が飛んでしまったり、雑音が入ったりします。

A: PlayAsYou Encode™はエンコードしながら再生することのできる全く新しい技術です。エンコード中のトラックをリアルタイムで再生するため、ある程度の処理能力が必要となります。音が飛ぶ、雑音が入るなどの現象が見られる場合は、再生を伴わないエンコードを行うようにしてください。この設定は“ MacMP3設定 ”コントロールパネル内“ 設定 ”タブから“ Play As You Encode™ ”の“ エンコード中に再生 ”のチェックを外すか、エンコード中に表示されるウインドウの“ 再生する ”のチェックを外して行ってください。

Q: MacMP3 でエンコード中に編集した MP3 ファイルのタグ情報が他のプレーヤで認識されませんでした。何か問題があるのでしょうか？

A: MP3ファイルをMacintoshやPCで再生する際、ID3v2タグがプレーヤに認識されないことがあります。再生の質には影響はありません。ほとんどの新しいMP3プレーヤはタグを正しく読み込みます。この点で問題のある場合は、お使いのMP3プレーヤの開発元に連絡してください。

一部のプレーヤ(特にDirectShowベースもしくは、Microsoft Media Playerより古いプレーヤ)は、ID3v2タグを含んだMP3ファイルを再生できない可能性があります。こういったプレーヤで再生する可能性があるMP3ファイルを作成する際は、“ MacMP3設定 ”コントロールパネルの“ CD 情報 ”タブ内の“ ID3v2タグ ”の“ MP3ファイルに曲名、アーティスト情報を含める ”のチェックボックスをオフすることをおすすめします。

また、MP3プレーヤの中には、タグ情報の表示に日本語をはじめとする2バイト文字が使えないものがあります。こういったプレーヤで2バイト文字のタグ情報を持つMP3ファイルを再生すると、文字化けしてしまいますのでご注意ください。

Q: ID3タグ情報の入力が進む前にエンコードを終えてしまいました。また、間違ったタグ情報を入力してしまったMP3ファイルもあります。これらのタグ情報を修正することは可能でしょうか？

A: MacMP3プレーヤのツールメニューから“タグエディタ”を選択し、タグ情報の編集画面にMP3ファイルをドラッグすると、タグの編集が行えます。また、修正したいMP3ファイルをプレイリストウインドウ内で選択後、ツールメニューから“タグエディタ”を選択しても同様の操作が可能です。いずれの場合も、1つのファイルのタグを編集する場合はすでに持っているタグ情報が編集画面に表示され、追加／変更後に“保存”ボタンをクリックすることで変更が反映されます。複数ファイルのタグ編集を行う場合は、編集画面のすべての入力エリアが空欄のまま表示されますので、すべてのファイルに共通した情報の部分だけを入力し、他は空欄のまま“保存”ボタンをクリックしてください。空欄にした部分の情報には変更を加えず、入力部分の情報だけを一括で更新することができます。なお、再生中のMP3ファイルのタグ情報の編集は正常に行えない場合があります。ご注意ください。

Q: ドラッグ&ドロップでのエンコード時に表示される“MacMP3エンコード設定”ウインドウを表示させないようにするにはどうしたらいいですか？

A: 左下にある“次からは表示しない”にチェックをすることで、次のエンコードから表示されなくなります。一度この設定を行うと、他の設定パネルなどで再度表示させるように設定することはできません。再度表示させたい場合は、optionキーを押しながらCDトラックをドラッグ&ドロップしてください。“MacMP3エンコード設定”ウインドウが表示されるので、左下にある「次からは表示しない」のチェックを外すと、次回以降、また表示されるようになります。

Q: MacMP3をインストールした後、システム起動時にフリーズするようになりました。

A: まず、機能拡張マネージャを使用し、“MacMP3機能拡張”をロードしない設定で起動した場合は正常に起動できるかどうかを確認してください。この設定で起動できた場合、“MacMP3機能拡張”が他の機能拡張書類などとコンフリクトしていることが考えられます。可能であれば、何と一緒にロードした

ときにフリーズが発生するかを調べ、アクト・ツースサポートセンターまでお知らせください。次期バージョン以降の開発に役立てさせていただきます。

なお、“MacMP3 機能拡張”をシステムから外した場合、音楽CDから自動的にMP3ファイルを作成することや、エンコード時にCDDDBを自動検索することはできなくなりますが、“MacMP3 v.2.0フォルダ”内の“MacMP3エンコーダ”アプリケーションにトラックをドラッグすることでエンコードが行えます。また、ダブルクリックでこのアプリケーションを起動し、表示されるウィザード画面からエンコードを行うことでコンフリクトに対処していただくのも1つの方法です。

Q: MacMP3で作成したMP3ファイルを、Windowsで聞くことはできますか？

A: 可能です。ただし、Windowsでは拡張子でファイルを判別するので、エンコード後のMP3ファイルの名称の末尾に“.mp3”という拡張子が付いていることを必ず確認してください。

Q: CDエクストラ(エンハンスドCD)の音楽CDからMP3ファイルを作成することはできますか？

A: CDエクストラのエンコードに関する手順は通常の音楽CDと異なりますので、「第4章:エンコードについて」の「エンコード方法7」を参照してください。

また、CDモードを使用してCDエクストラの再生を行うことは可能ですが、モードメニュー内の“この曲をMacMP3でエンコード”や“このCDをMacMP3でエンコード”を使用してエンコードすることはできませんのでご注意ください。

Q: 複数枚の音楽CD情報をCDDDBからまとめて取得することは可能ですか？

A: MacMP3は、一度取得した音楽CD情報をシステムに保存します。ですから、インターネットに接続した状態で一度お手持のCDをすべてマウントし、CDDDBから情報を取得しておく、以後それらの音楽CDを聴いたり、MP3ファイルを作成する度に取得した情報を反映させることができます。インターネットに常時接続できる環境がない場合に非常に有効です。

Q: インターネット上から入手した合法的なMP3ファイルをMacMP3で再生しようとしたが、「MPEGオーディオファイルではありません」というアラートが表示され、再生できません。

A: MacMP3のプレーヤを使うと、MacMP3以外で作成されたMP3ファイルも再生することができます。しかし、ごくまれに再生できないファイルがあるかもしれません。その理由として、何らかの理由でそのMP3ファイルが壊れてしまった可能性が考えられます。MP3ファイルの公開者もしくは作成者に問い合わせるか、もしくは他のMP3ファイルでお試ください。

その他:

Q: Stuffit DeluxeやDropStuffでMP3ファイルを圧縮しましたが、全く圧縮されませんでした。なぜですか？

A: MP3の魅力は音質がCD並みに良いにもかかわらず、ファイルサイズが非常に小さいということです。これは、MP3は圧縮を供なって作成されるフォーマットであることを意味します。一般的に、既に圧縮されたフォーマットのファイル(JPEG画像等)を圧縮してもほとんど効果が得られませんが、MP3ファイルも同様だと考えてください。

Q: シリアル番号を入力してもインストールできません。

A: まず、シリアル番号は半角文字で入力されているかをご確認ください。シリアル番号は、ユーザ登録カードに記載されたシリアル番号を半角文字で正しく入力してください。また、“会社”欄は空欄でもかまいませんが、“名前”欄には必ず3文字以上入力していただく必要があります。それらのことを確認してもシリアル番号が入力できない場合は、弊社テクニカルサポートセンターにお問い合わせください。

第 8 章:テクニカルサポート

■ユーザ登録

ご購入後、速やかにユーザ登録を行ってください。登録を済ませた正規ユーザの方には、ユーザサポート、テクニカルサポート、アップグレードなどのサービスを提供させていただきます。登録されていない方はこれらのサービスを受けられない場合がございますのでご注意ください。

■登録方法

パッケージに同梱されている「ユーザ登録カード」に必要事項をご記入の上、切手を貼り、郵便にてご返送ください。必要事項にご記入漏れ、書き間違いなどあった場合、ご登録できない場合がございますのでご注意ください。

■サポート窓口

アクト・ツー サポートセンター

URL: <http://www.act2.co.jp/>

E-mail: support@act2.co.jp

FAX: 03-3328-8454

TEL: 03-3328-8431

受付電話時間

祝祭日を除く平日 10:00～12:00／13:00～16:00

■サポートセンターへのお問い合わせ

このガイドに記載されている情報で解決できない問題が発生した場合、下記の情報をご用意の上、サポートセンターへご連絡ください。

- | | |
|---|--|
| ☐ ユーザID | ☐ 製品名ならびにバージョン番号 |
| ☐ 製品の登録番号(シリアル番号) | ☐ お使いの Macintosh の機種名 |
| ☐ お使いの MacOS のバージョン | ☐ 搭載メモリ容量 |
| ☐ お客様のご連絡先 | ☐ 問題の発生手順 |
| ☐ 関連があると思われる周辺機器の種類・型番 | ☐ 最近インストールしたソフトウェア |

※ お電話でご連絡頂く場合、可能であれば Macintosh を操作できる状態でご連絡ください。

